



EXZES X
2.4GHz Digital High
Response System

取扱説明書

このたびは、**EXZES X**をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、**EXZES X**を安全に正しくご使用いただくために、取り扱いに関する手順、要領および注意事項などについて説明しています。本機の性能を十分発揮させるために、ご使用になる前には本書を良くお読みになり、正しくお取り扱いいただくようお願い申し上げます。

なお、本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

SANWA

プロポの安全な取扱いと注意事項

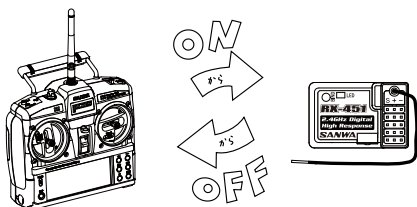
お買い上げいただいたプロポを正しく安全にご使用いただくために、本書をよくお読みいただき、注意事項を必ず守ってください。
使用方法を誤ったり、安全に対する注意をおこたったりすると、他人に迷惑をかけたり、自分自身をきずつけたりすることになります。
■安全確保のため、この各項目を必ずお守りください。



警告

搭載時及び操作上の注意

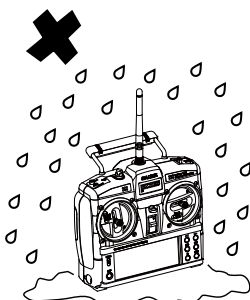
- プロポの電源スイッチをONにするときは必ず①送信機→②受信機の順でおこなってください。またOFFにするときは①受信機→②送信機の順番でおこなってください。
- ☆スイッチ操作を誤って逆にすると突然エンジンやモーターが高回転になり、大変危険です。



- 車体(船体)には必ずノイズ対策をおこなってください。
- ☆金属同士がこすれると電氣的ノイズ(雑音)が発生し正常な動作をしない原因となりますのでビス、ナットのゆるみのないことを確認してください。
- ☆ガソリンエンジン、モーターなどからもノイズが発生することがあります。抵抗入りプラグや、ノイズキラーコンデンサー等のノイズ対策をおこなってください。

- 走行(航)前に必ずプロポの動作確認(通達テスト)をおこなってください。異常な動きをしたり、動かない場合は走行(航)させないでください。机上でのテストが正常であっても走行(航)中の電波の到達距離は、受信機の搭載方法、アンテナの張り方、送信機のアンテナの向き、地形等によって変わりますので、初走行(航)の際は特にご注意ください。

- 雨の日は絶対に走行(航)させないでください。
- ☆送信機内部は精密な電子部品でできていますので、アンテナやケースを伝わって水が入ると誤動作や不動となり危険です。



- ☆受信機、サーボ等が水没した時は、すぐに回収して内部を乾燥させてください。乾燥後、正常に動作しても念のために最寄りの三和サービスへ点検にお出してください。

- 受信機は精密機器です。強い衝撃や振動をあてないでください。
- ☆厚手のスポンジ等を使用し、防振対策をおこなってください。

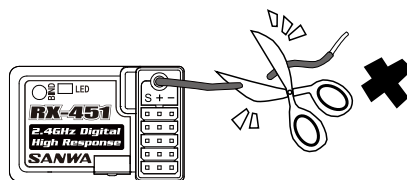
- 受信機はFETスピードコントローラー、モーター、バッテリーからできるだけ離して搭載してください。

- 金属シャシーやカーボンシャシーなどに搭載する場合は両面テープを3枚位かさねて使用し、受信機をシャシーから離してください。

- 電波障害がある場合は、受信機の搭載場所をかえるか、タテ積⇄ヨコ積に搭載方法をかえてください。

- 受信機のそばにモーターコードやバッテリーコードがあると誤動作しやすくなるので、近づけないでください。

- 受信機のアンテナ線はできるだけ外へ出し、まっすぐ立てて張るようにしてください。余分な長さを切断したり、折り返したりしないでください。
- ☆アンテナ線が短くなると走行(航)できる範囲が狭くなるので危険です。
- ☆アンテナ線は絶対に切断しないでください。



- アンテナ線はモーターコードやバッテリーコードに近づけないようにしてください。

- 金属シャシーやカーボンシャシーに導電性のピアノ線アンテナを使用するとノイズにより誤動作する可能性があります。シャシーにアンテナ線を近づけないようにしてください。

警告 走行(航)の際の注意

RCカー、ボート等を走行(航)する場合は、必ず下記事項を守り、他の人の迷惑にならないようご注意ください。

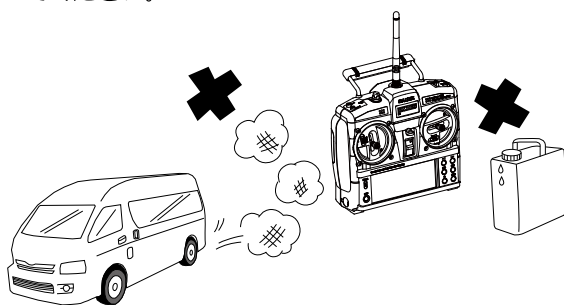
- 車体(船体)は完全に整備をして安全を確認してください。
- 人ごみや、道路では絶対にRCを走行させないでください。
- 走行(航)後は必ず動力バッテリーのコネクターをはずし、車体(船体)から動力バッテリーをはずしてください。
- 同時走行(航)の場合は必ず管制員を決めて、その指示に従って走行(航)してください。
- 他の人の走行(航)を妨げないようにご注意ください。
- ラジコン保険に必ず加入してください。ラジコン保険の加入申込は、ラジコン操縦士登録代行店にお問合わせください。
- エンジンカーには必ず消音効果のある「マフラー」(消音機)を付けてください。
- 早朝からのエンジン始動はやめてください。
- 走行(航)場所は必ずきれいに掃除をしてから帰ってください。

注意 用途について

- 模型用以外には使用しないでください。
- 本製品は、模型用として日本国内の電波法に基づいて製造されていますので、海外ではご使用になれません。

注意 日常のお手入れ

- エンジンの排気や燃料がついた時は、やわらかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどい時には、水または中性洗剤を染み込ませたきれいな柔らかい布を固くしぼって拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、モータークリーナー、ブレーキクリーナーなどは表面の仕上げをいためたり、変質する場合がありますので、ご使用にならないでください。



注意 送信機の手扱いについて

- ぶつけたり、落としたり強い衝撃を与えたりしないでください。またタイヤトラクション剤等のついた手で送信機、受信機、サーボ、F E T スピードコントローラー等にさわると、故障やケース変形の原因となります。

マーク
の意味



警告

事故や怪我をしないために必ず守っていただきたいこと。



注意

故障を起こさないために必ず守っていただきたいこと。

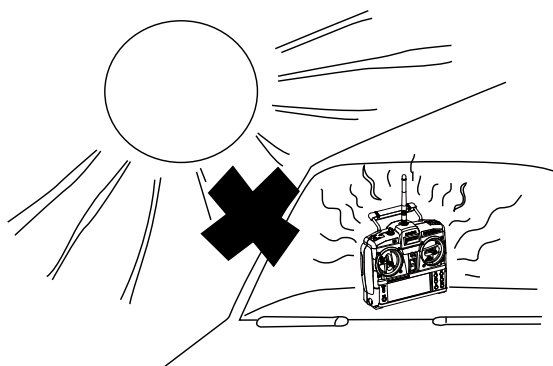
プロポの安全な取扱いと注意事項



注意

置き場所について

- 次のような場所で保管しないでください。
 - ☆ 極端に暑いところ、極端に寒いところ。
 - ☆ 直射日光が長時間あたるところ。
特に窓を閉めきった自動車内で直射日光が当たる場所に放置すると季節により車内温度が80℃以上になり、変形や故障の原因となる場合がありますので、充分ご注意ください。
 - ☆ 湿気の多いところ、風通しの悪いところ。
 - ☆ 振動の多いところ。
 - ☆ ほこりの多いところ、蒸気や熱気が当たるところ。
 - ☆ エンジンの排気がかかるところ、燃料缶のそば。



注意

安全に使用していただくための注意事項

- 2.4GHz帯はラジオコントロール専用の周波数ではありません。この周波数帯はISM（産業、科学、医療）バンドと共用されているので、都市部では電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ機器、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信の影響を受ける可能性があります。またアマチュア無線、移動識別用構内無線にも使用されているため、これらの影響に注意して使用してください。
なお、既存の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の発射を停止し干渉回避対策をおこなってください。
- RCサーキット等では2.4GHzシステムに影響を与える可能性のある機器の使用を最小限にし、必ず事前に安全性の確認をおこなってください。また、施設管理者の指示に従ってください。
- 建物や鉄塔などの後ろを走行（航）させたときのように電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスの低下や操縦不能になる可能性があります。常に目視で確認出来る範囲で走行（航）してください。
- 日本国内では、技術適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールが使用できます。技術適合証明ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で、技術適合証明ラベルが貼られていないプロポやモジュールを日本国内で使用することはできません。電波法違反になる場合があります。
- (財)日本ラジコン電波安全協会では、ラジオコントロールに使用する電波を安全に使用していくための啓発をおこなっています。同協会の名称の入った技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールの使用を推奨します。



※技術適合証明ラベル例



注意

安全に使用する際の注意事項

- 送信機のアンテナは構造上、電波の弱い方向があります。アンテナの先端を操縦している模型に絶対に向けないでください。
- 送信機のアンテナは使用時に地面と垂直になるように角度を調整してお持ちください。
- 走行中は送信機のアンテナを握ったりしないでください。電波の出力が弱くなり走行(航)できる範囲が狭くなるので危険です。
- 送信機のアンテナは特性上、金属製のクリップなどをアンテナに取り付けしないでください。
- 送信機のアンテナは取り外しが可能ですが、アンテナ交換が必要な時以外は外さないでください。
本体のアンテナ端子に異物などが付着すると、電波の出力が弱くなり、走行(航)できる範囲が狭くなるので危険です。
内部ケーブルの断線、接点不良の原因となる恐れがあり、受信距離が短くなり危険です。
- アンテナを外した状態で送信機のパワースイッチをONにしないでください。出力部に負荷がかかり、最悪の場合送信機本体が壊れる可能性があります。
- 送信機のアンテナは可動式ですが、必要以上にむやみに廻したり、衝撃など与えないでください。
- 送信機のアンテナがゆるんでいると、電波の出力が弱くなる場合があります走行(航)できる範囲が狭くなり危険です。
使用する前にアンテナがゆるんでいないか確認してください。
- 送信機のアンテナを受信機以外のサーボ、FETスピードコントローラー等極端に接近させると誤動作する場合がありますが、強い高周波出力の影響で異常ではありません。
- 受信機は精密機器です。強い衝撃や振動をあたえないでください。厚手のスポンジ等を使用し、防振対策をおこなってください。
- 受信機のアンテナ線はできるだけ外へ出し、まっすぐ立てて張るようにしてください。余分な長さを切断したり、折り返したりしないでください。
- 受信機のアンテナ線はモーターコードやバッテリーコードなどのノイズ源に近づけないでください。
- 金属シャシーやカーボンシャシーにレシーバーを搭載する場合は、両面テープなどを重ねて使用し、できるだけシャシーから離してください。

マーク
の意味



警告

事故や怪我をしないために必ず
守っていただきたいこと。



注意

故障を起こさないために必ず守
っていただきたいこと。

INDEX

■ セットの構成と規格	P.6
● セットの構成(6)	
● セットの規格(6)	
■ ご使用になる前に	P.7
● ラウンドスティックの調整(7)	
● スラントスティックヘッドの調整(7)	
● スティックテンションの調整(7)	
● 電源バッテリーを充電する(8)	
■ バインドについて	P.8
■ 送信機各部の名称	P.9
■ 各機能の使用方法	P.11
● キー操作について(11)	● ラップタイマー<LAP>(30)
● メニュー選択画面及び常時表示画面(12)	● インターバルタイマー<INT>(32)
● バッテリー電圧表示<BATT>(13)	● ダウンタイマー<DOWN>(33)
● オペレーションタイマー<BATT>(13)	● サーボリバース<REV>(34)
● ステアリングデュアルレート<D-RATE>(14)	● スターティングポジション<S-POS>(35)
● エンドポイントアジャスト(ステアリング/スロットル/AUX)<EPA>(15)	● スロットルホールド<TH-HLD>(36)
● エクスポネンシャル(ステアリング/スロットル)<EXP>(18)	● ブレーキミキシング<BR-MIX>(37)
● アジャスタブルレートコントロール(ステアリング/スロットル)<ARC>(20)	● コンペンセーションミキシング<C-MIX>(39)
● スピード(ステアリング/スロットル)<SPEED>(22)	● サーボモニター<SERVO>(42)
● アンチロックブレーキ<ALB>(24)	● セットアップ<SET-UP>(43)
● トラクションコントロール<TR-CTL>(25)	● シグナル<SIGNAL>(47)
● モデルセレクト<SELECT>(27)	● キーアサイン<KEY-ASGN>(49)
● モデルネーム<NAME>(27)	● ユーザーネーム<USER>(52)
● モデルコピー<COPY>(28)	● フェールセーフ<F-SAFE>(53)
● モデルクリア<CLEAR>(28)	● ボリュームアジャスト<VR-ADJ>(55)
● サブトリム<SUB-T>(29)	● カスタマイズメニュー<C-MENU>(57)
	● ダイレクトサーボコントロール(58)
■ 受信機の接続と搭載について	59
● 受信機各部の名称	
● アンテナの取扱いについて	
■ こんなときは	60
■ サンワサービスについて	61
■ 修理依頼カード	
■ 保証書	

セットの構成と規格

セットの構成

●ご使用になる前にセットの内容をお確かめください。

	RX-451/PC・プライマリーコンポ	RX-451R/PC・プライマリーコンポ
〈A〉送信機	TX-392	←←←←←
〈B〉受信機	RX-451	RX-451R
〈C〉充電器	TRXチャージャー x 1	←←←←←
〈D〉付属品	HGスイッチハーネス x 1	←←←←←
	DSCハーネス x 1	←←←←←
	取扱説明書 x 1	←←←←←

セットの規格

〈A〉送信機	
品 番	TX-392
出力表示	デジタル/アナログ表示(電源電圧表示)
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
電 源	NH6N-1500S
重 量	778g

〈B〉受信機	
品 番	RX-451
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
寸 法	36.3x24.0x14.6mm
電 源	DC4.8~7.4V
重 量	9g

品 番	RX-451R
変調方式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
寸 法	36.3x24.0x14.6mm
電 源	DC4.8~7.4V
重 量	9g

※RX-451Rではアナログサーボを使用できませんので、ご注意ください。

ご使用になる前に

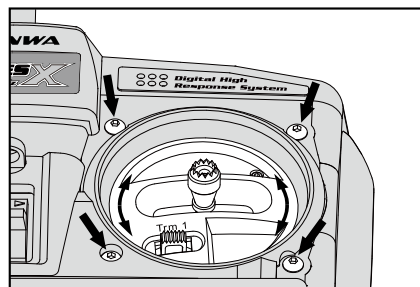
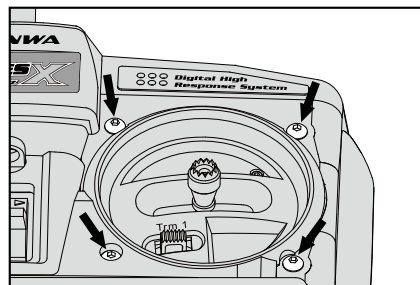
電源バッテリーを充電する
ご使用になる前に

ラウンドスティックの調整

スティックベースを回転させることにより、指の動きに対してリニアでスムーズなスティックワークが可能になりました。

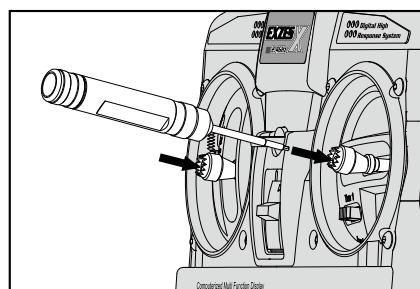
- 1) 六角ビス4本を2mm六角レンチドライバーでスティックベースが左右にまわるようになるまでゆるめます。
- 2) スティックベースを回転させます。
- 3) ポジションが決まったら、六角ビスを締めて固定してください。

※スロットル側も同様に調整可能です。



スラントスティックヘッドの調整

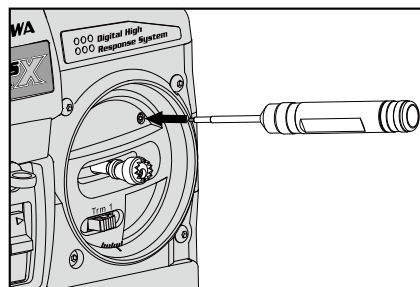
- 1) ステアリング/スロットルのスティックヘッドのポジションを可変することにより、ベストなホールド感を維持できます。
- 2) スティックヘッド先端の六角穴付ホーローセットビスを1.5mm六角ドライバーでゆるめます。
- 3) スティックヘッドを好みの位置にあわせませす。
- 4) ポジションが決まったら、スティックヘッドを固定して六角穴付ホーローセットビスを締めて固定してください。



スティックテンションの調整

右図のように1.5mm六角レンチドライバーを使用しスティックのスプリングテンションを調整します。

※スプリングテンションは、工場出荷の状態が一番やわらかい状態です。
(六角穴付ホーローセットビスの先端がケースの高さと同じ六角レンチドライバーを締めこんでいくと、スプリングテンションは硬くなります。)



電源バッテリーを充電する

- 正しく安全にご使用いただくために、下記充電方法および注意事項をよく読んでください。
- お買上げいただいた状態では充電されていません。必ず充電してから使用してください。

送信機バッテリーの充電

- 1) AC100Vのコンセントに付属の充電器を接続します。
- 2) 送信機からバッテリーをはずして、付属の充電器に接続してください。
- 3) バッテリーを接続して充電器のLEDが点灯している事を確認してください。

※TRXチャージャーを使用する際は、先にコンセントに接続してからバッテリーを接続してください。
接続の手順を間違えると充電が開始されませんのでご注意ください。
※お買上げ後はじめて使用される場合や、しばらく使用されなかった場合は、充放電を2～3回繰り返して
バッテリーを活性化させてからご使用ください。
※送信機の充電ジャックに急速充電器を接続しないでください。
送信機の回路には過電流保護回路が内蔵されているため、急速充電器を接続して充電した場合、正常に充電
されない場合があります。



警告 安全にお使いいただくためのバッテリー取扱上の注意事項

※充電式バッテリーをご使用の際には、次の事を必ずお守りください。

使用方法を誤ると漏液、発熱、破裂させるなどの原因となります。

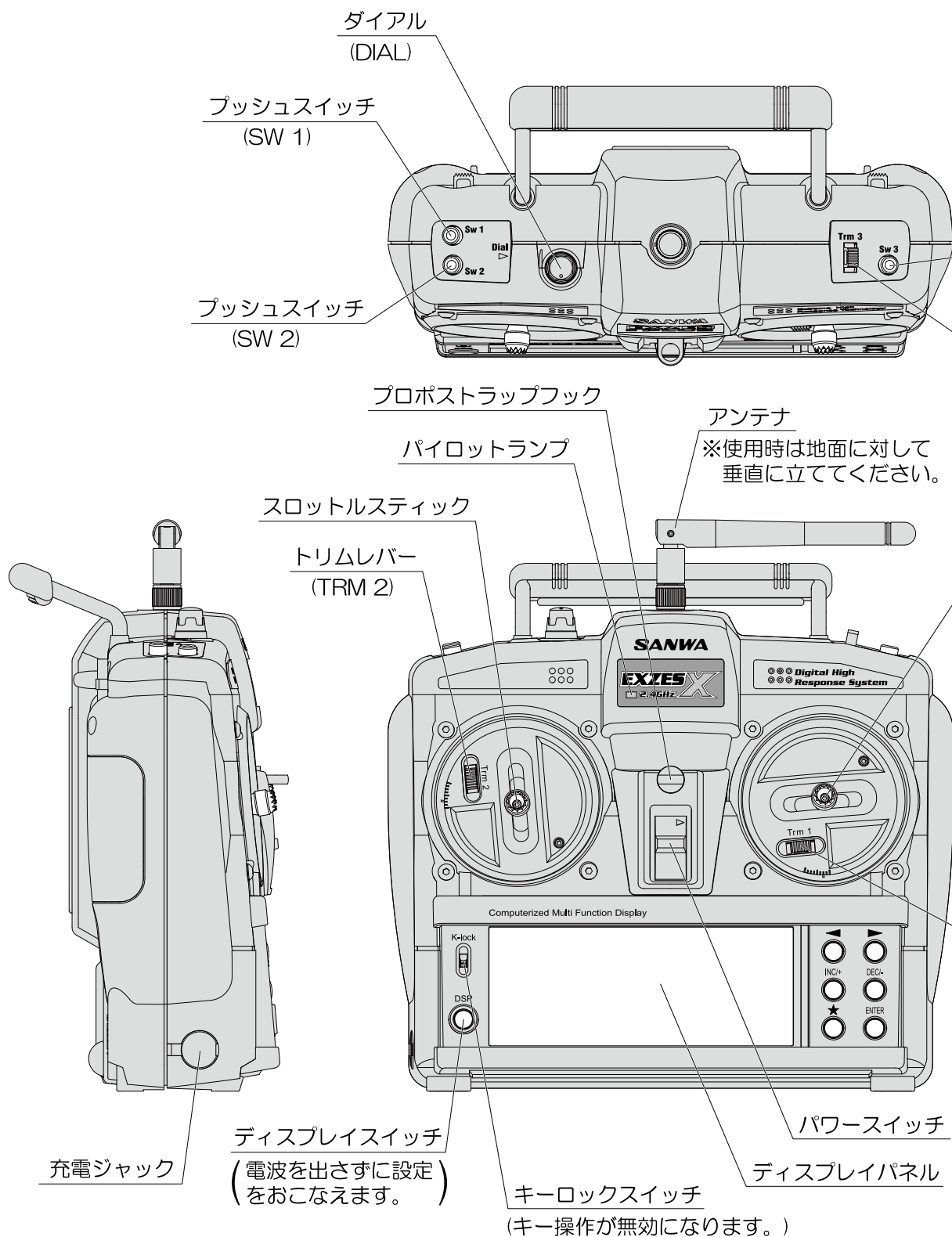
- 付属の充電器はAC100V以外の電源コンセントには差し込まないでください。
AC100V以外のコンセントに差し込むと発煙、発火、火災の恐れがあります。
- 過充電はバッテリーを破損させるだけではなく、異常発熱、破裂、漏液等により、ヤケド、
火災、ケガ、失明などの危険があります。
- 付属の充電器にバッテリーを接続する際は、プラス/マイナスが逆にならないように
極性に注意して接続してください。
- 火の中に投げ入れたり、加熱したりしないでください。
- プラスとマイナスを針金などの金属類で接続するなど、ショートさせないでください。
- 外装チューブをはがしたり、キズをつけないでください。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけないでください。

BIND (バインド) について

- BIND(バインド)とは：EXZES X送信機はそれぞれ固有のID(固体識別)番号をもっており、そのID番号を受信機に
記憶させること(BIND)です。バインドした送信機と受信機のセットでしか動作しないようになります。
- 出荷時にはバインドされていません。ご使用になる前に必ずバインドをおこなってください。
- ご使用になる受信機にあわせて、EXZES XのTYPE(出力方式)の設定をしてからバインドをおこなってください。
送信機と受信機のTYPE(出力方式)があっていないと、バインド及び動作いたしませんのでご注意ください。
- 新たに受信機を購入された場合は、必ず送信機と新しい受信機でバインドをおこなってください。
- 必ずバインドした送信機と受信機のセットでお使いください。

※BIND(バインド)の詳しい設定については取扱説明書P.45、46の手順にしたがっておこなってください。

送信機各部の名称



プッシュスイッチ
(SW 3)

トリムレバー
(TRM 3)

ステアリングスティック

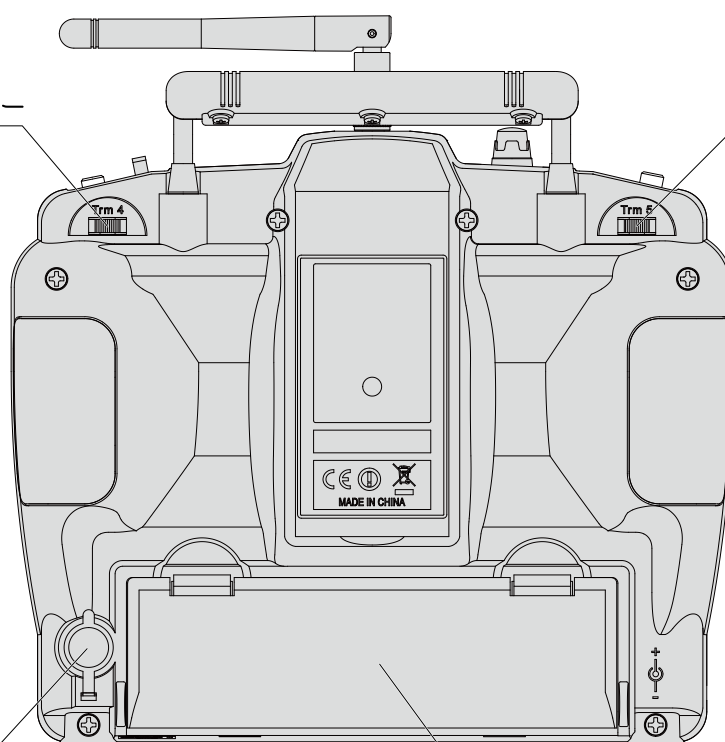
トリムレバー
(TRM 4)

トリムレバー
(TRM 5)

トリムレバー
(TRM 1)

DSCジャック
(ダイレクトサーボコントロール)

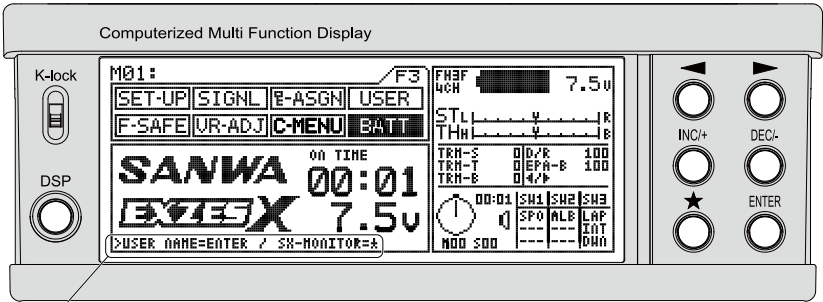
電池蓋




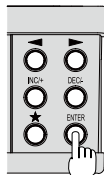

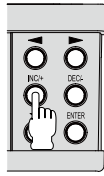

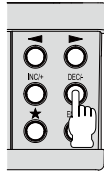
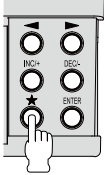
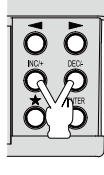
各機能の使用法

キー操作について

●操作キーは6つのキーからなり、設定、呼び出しを簡単におこなえます。

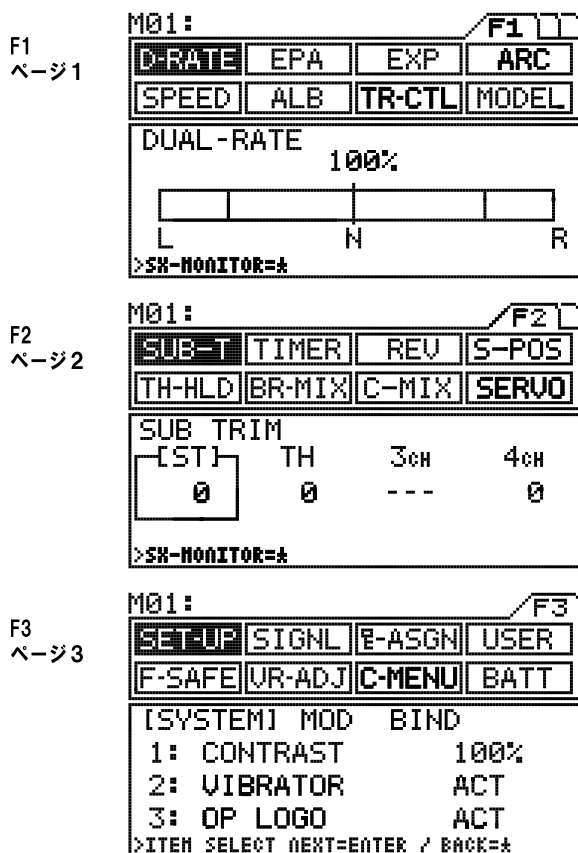


HELPメニュー
表示部

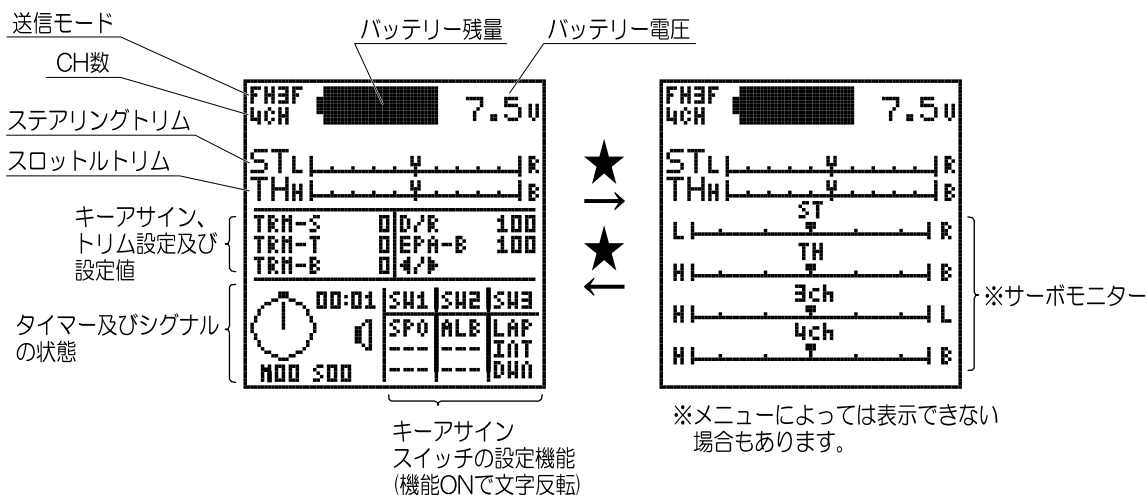
キー操作	名 称	動 作	キー操作	名 称	動 作
	ファンクション セレクト レフトキー (左移動)	●カーソルを1つ左へ移動します。 ●画面の先頭のメニューにカーソルがある時に操作した場合は、前ページの最後尾のメニューに移動します。		エンターキー	●スクロール、メニュー等により動作が異なります。 画面下部のHELP表示部に動作が表示されます。
	ファンクション セレクト ライトキー (右移動)	●カーソルを1つ右へ移動します。 ●画面の最後尾のメニューにカーソルがある時に操作した場合は、次ページの先頭のメニューに移動します。		プラスキー	●設定値をプラスします。 ●機能を決定します。
	レフトキー・ ライトキー 同時押し (ページ移動)	●F1→F2→F3→F1→・・・ ページの先頭メニューへ移動します。		マイナスキー	●設定値をマイナスします。 ●機能を否定します。
	スクロールキー	●スクロール、サーボモニター等、メニューにより動作が異なります。 画面下部のHELP表示部に動作が表示されます。		プラスキー・ マイナスキー 同時押し	●設定値がクリアされ、初期値に戻ります。

メニュー選択画面及び常時表示画面

- EXZES Xの各機能はF1～F3の3ページからなっており、◀、▶ キーだけでダイレクトに機能を選択できるようになっています。
また、◀、▶ 同時押しによりF1→F2→F3→F1→・・・とファンクションページの頭出しができるようになっています。



- また、画面右側に常時表示エリアを設け、どのメニューからでも各機能の設定状態を確認できるようになっています。
また★キーにより、サーボモニター画面を表示させることもできます。



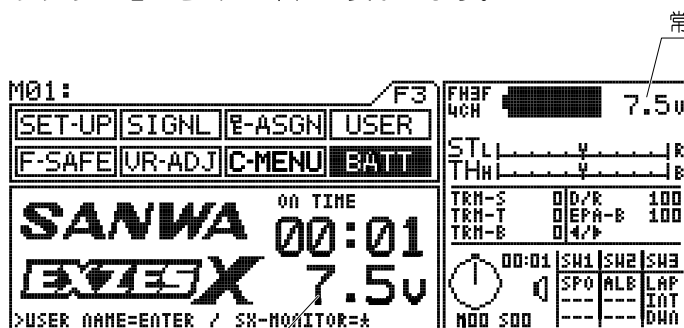
各機能の使用法

バッテリー電圧表示

BATT

SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT

- 送信機のバッテリー電圧を0.1V単位で表示します。



注意

- バッテリーアラームについて

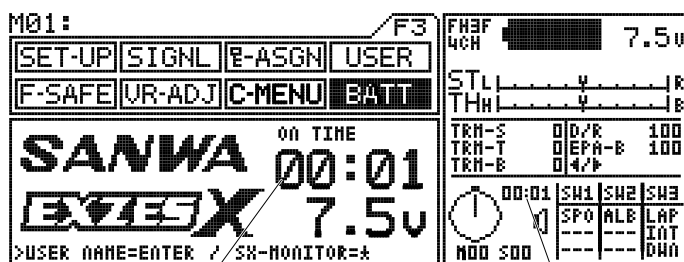
送信機のバッテリー電圧が6.7V以下になると、アラームが30秒毎に鳴りますので、すみやかに走行を中止して、送信機のバッテリーを交換/充電してください。

オペレーションタイマー

BATT

SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT

- 送信機のスイッチを入れている時間の表示、バッテリーの使用時間の目安になります。バッテリーを交換/充電した時は、INC/+キーとDEC/-キーを同時に押して、積算時間をリセットしてください。



補足

- ディスプレイスイッチで使用しているときも、オペレーションタイマーに加算されます。

ステアリングデュアルレート

D-RATE

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

- ステアリングスティックを最大に操作したときの舵角(左右同角)を調整できます。RCカーや路面コンディションに対応させるために、走らせながら調整します。

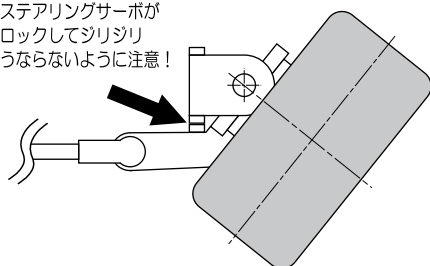
- 1) ファンクションセレクトキーを押し、カーソルをD-RATEにあわせてください。

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
DUAL-RATE				
100%				
<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> L N R </div>				
>SH-MONITOR=<				

- 2) ステアリングスティックを左右のどちらかに操作し、RCカーのステアリングリンケージがロックするところまでINC/+またはDEC/-キーで調整し、その設定値から25%くらいD-RATEの設定値を減らします。路面コンディションやタイヤのグリップに応じて走らせながらステアリングデュアルレートの調整をおこなってください。

- 設定範囲 0%~150%
- 初期値 100%

※ステアリングサーボが
ロックしてジリジリ
うならないように注意!

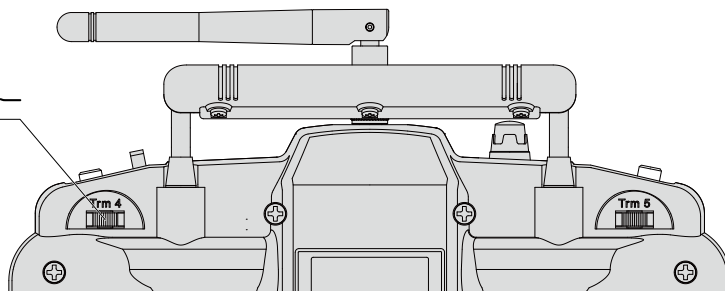


注意

- ステアリングリンケージがロックした状態が長く続くとサーボに過電流が流れ、サーボモーター破損の原因になります。

- 3) 走行中のステアリングデュアルレート調整は、背面左上のトリムレバー(TRM 4)で調整してください。キアサイントリム機能でトリムレバーの位置変更が可能です。

トリムレバー
(TRM 4)



補足

- ステアリングデュアルレートの調整をおこなう前に、ステアリングリンケージのエンドポイントアジャストをおこなってください。(P.15)
- ステアリングデュアルレート調整トリムをご使用にならない方は、キアサイントリム機能で、OFFにしておくと誤操作がなく安全です。(P.50)

各機能の使用法

エンドポイントアジャスト

EPA

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

- ステアリング左右の舵角調整、スロットルのハイ側、ブレーキ側の動作量の調整をします。
また、4CH設定時には3CH(ブレーキまたはAUX)、4CH(ブレーキ)の舵角調整も可能です。

[ST] ステアリング・エンドポイントアジャスト

- リンケージやサスバランス、タイヤ径の違いから左右のコナリング半径が違うことがあります。このようなときに左右のサーボ舵角をあわせませす。

1) EPAの設定の前に、サーボのニュートラル調整(P.29参照)をおこなってください。
ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボホーンをおよそのセンター位置に取り付け、サブトリムで微調整することです。

2) ファンクションセレクトキーにより、EPAの[ST]にカーソルを移動します。

3) ステアリングのR側を設定するときは、ステアリングスティックを右に操作しながらINC/+またはDEC/-キーで調整します。
L側は左に操作しながら同様に調整します。

- 設定範囲 0~150%
- 初期値 100%

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
END POINT ADJUSTMENT				
[ST]	TH	3ch	4ch	
100%L	100%R	100%R	---	
100%R	100%L	100%L	100%R	
TH ----- 4ch				
>SH-MONITOR=4				



注意

- ステアリングデュアルレートとステアリングEPAを共に大きく設定しすぎると、ステアリングスティックを操作してもサーボが動作しない範囲が発生しますので、ご注意ください。

[TH] スロットル・エンドポイントアジャスト

- FETスピードコントローラーのハイポイント、ブレーキポイントの調整、キャブレターのストローク調整をおこないます。

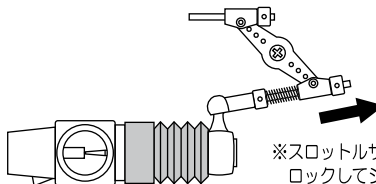
1) ファンクションセレクトキーにより、EPAの[TH]にカーソルを移動します。

2) FETスピードコントローラーを調整する場合、通常はハイ側、ブレーキ共に設定値を100%にしておき、FETスピードコントローラー側でハイポイント、ブレーキポイントを設定します。(FETスピードコントローラーによって、設定方法は異なります。)

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
END POINT ADJUSTMENT				
ST	[TH]	3ch	4ch	
100%L	100%R	100%R	---	
100%R	100%L	100%L	100%R	
TH ----- 4ch				
>SH-MONITOR=4				

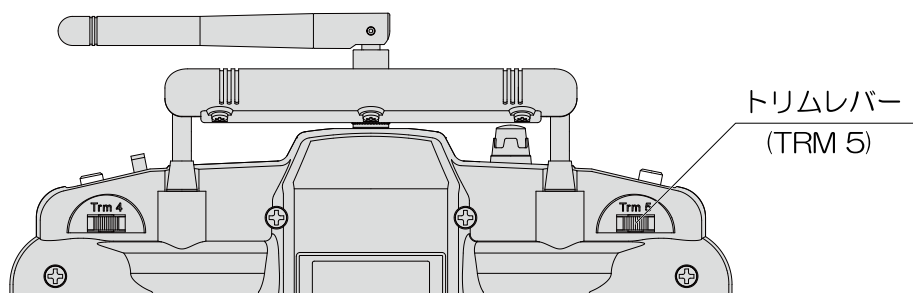
エンジンカーでスロットルのハイ側をあわせる時は、スロットルスティックをハイ側に操作しながら、INC/+またはDEC/-キーで調整します。

- 設定範囲 ハイ側 0~140%
ブレーキ側 0~160%
- 初期値 100%



※スロットルサーボがロックしてジリジリうならないように注意!

- 3) 走行中のブレーキ調整は、送信機背面左上のトリムレバー (TRM5) で調整をおこないます。TRM5による調整でEPA-Bの設定値を可変できます。4CH設定時はブレーキ設定されているチャンネルの設定値も同時に可変されます。



注意

- スロットルリンケージでキャプテーター全開側、ブレーキ側のEPAの設定値が大きすぎると、サーボがロック状態になりサーボモーターの故障原因となり、暴走の危険があります。

補足

- ブレーキ調整のトリムレバー (TRM5) はキアサイントリム機能で設定箇所を変更することができます。(P.50)

4CH設定時

[3CH] AUX・エンドポイントアジャスト (BR-MIX 3CH-BRAKE INHの場合)

- AUXはニードルコントロール等に使用でき、EPAにより最大舵角の微調整が可能になります。H(ハイ)/L(ロー)個別に設定可能なので、こまかい調整が可能です。

※設定する前に、キアサイントリム機能でDIALもしくはTRMに3CHの機能を割り当ててください。(P.50)

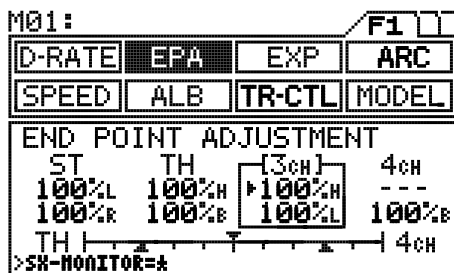
1) SET-UPメニューのCHANNEL設定が4、BR-MIXメニューの3CH-BRAKEの設定がINHに設定されているか確認します。設定されていないと使用できません。

2) ファンクションセレクトキーにより、EPAの[3CH]にカーソルを移動します。

- 3) 3CHのH側を設定するときは、キアサイントリム機能で割り当てたDIAL/TRMで3CHの設定値を+側に設定してから、INC/+、DEC/-キーで調整してください。

L側を設定するときは、DIAL/TRMで3CHの設定値を一側に設定してから、INC/+、DEC/-キーで調整してください。

- 設定範囲 0～150%
- 初期値 100%



補足

- AUXはキアサイントリム機能の初期設定では割り当てられていませんので、ご使用になる前にAUXの機能をDIAL/TRM1～TRM5のどれかに割り当ててください。(P.50)

各機能の使用法

エンドポイントアジャスト

EPA

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

4CH設定時

[3CH] AUX・エンドポイントアジャスト (BR-MIX 3CH-BRAKE ACTの場合)

●3CHをBRAKEとして使用する場合、他のBRAKE CHのEPAとは別に設定が可能になります。

1) SET-UPメニューのCHANNEL設定が4、BR-MIXメニューの3CH-BRAKEがACTに設定されているか確認します。
設定されていないと使用できません。

2) ファンクションセレクトキーにより、EPAの[3CH] にカーソルを移動します。

3) スロットトリガーをブレーキ側に操作し、INC/+ またはDEC/-キーで調整します。

- 設定範囲 0~160%
- 初期値 100%

4) 走行中のブレーキ調整は、送信機背面のトリムレバー (TRM5) で調整します。 P.16 [TH] EPAの3参照

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
END POINT ADJUSTMENT				
ST	TH	[3CH]	4CH	
100%	100%	---	---	
100%	100%	100%	100%	
TH ----- 3CH				
>SR-MONITOR=*				



注意 ●ブレーキ専用チャンネルになっていますので、BRAKE側しか設定できません。

[4CH] 4CH-BRAKE・エンドポイントアジャスト

●4CHはBRAKE専用チャンネルです。他のBRAKE CHのEPAとは別に設定が可能になります。

1) SET-UPメニューのCHANNEL設定が4になっているか確認します。
設定されていないと使用できません。

2) ファンクションセレクトキーにより、EPAの[4CH] にカーソルを移動します。

3) スロットトリガーをブレーキ側に操作し、INC/+ またはDEC/-キーで調整します。

- 設定範囲 0~160%
- 初期値 100%

4) 走行中のブレーキ調整は、送信機背面のトリムレバー (TRM5) で調整します。 P.16 [TH] EPAの3参照

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
END POINT ADJUSTMENT				
ST	TH	3CH	[4CH]	
100%	100%	---	---	
100%	100%	100%	100%	
TH ----- 4CH				
>SR-MONITOR=*				



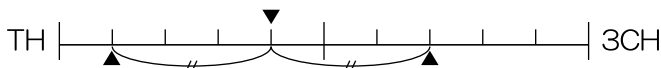
注意 ●ブレーキ専用チャンネルになっていますので、BRAKE側しか設定できません。

補足

●バランスバーグラフ表示について

画面下部にあるバーグラフは、ブレーキチャンネルを2つ以上設定した時に有効となります。このグラフの▼は両サイドに表示されているチャンネル(ここでは、左TH、右3CH)の2つのEPAの設定値のセンター位置を表示しています。ブレーキの前後バランスの目安としてご使用ください。なお▲位置はそれぞれEPAの設定値を示しています。

また、3CH-BRAKE ACT時にはENTERキーにてTH⇄3CH、3CH⇄4CHのバランス表示が交互に切りかわります。3CH-BRAKE INH時は、TH⇄4CH固定表示となります。



#

各機能の使用法

エキスポネンシャル

EXP

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

[TH] スロットル・エキスポネンシャル

- スロットル特性をマイルド⇄ニア⇄クイックまで可変できます。一般的に滑りやすい路面やオーバーパワーと感じる時には設定値をマイナス側に調整し、ハイグリップな路面状態やパワーユニットにパワー不足を感じる時には設定値をプラス側に設定します。ハイ側/ブレーキ側を個別に設定可能です。

- 1) ファンクションセレクトキーにより、EXP[TH]にカーソルを移動します。

- 2) ▶がHの右横にあることを確認し、THのハイ側のEXPの設定をINC/+、DEC/-キーで調整します。

- 設定範囲 -100%~100%
- 初期値 0

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

ST [TH]	
OUTPUT H ▶ 65%	OUTPUT
B -65%	
H EXP	ACT B

>ITEM SELECT=ENTER / SK-MONITOR=A

- 3) ENTERキーで▶をBの右横に移動して、THのブレーキ側のEXPの設定をINC/+、DEC/-キーで調整します。

- 設定範囲 -100%~100%
- 初期値 0

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

ST [TH]	
OUTPUT H 65%	OUTPUT
B ▶ -65%	
H EXP	ACT B

>ITEM SELECT=ENTER / SK-MONITOR=A

- 4) EXPのINH/ACT
有効にする場合はACTに、無効にする場合にはINHにします。
・ENTERキーで▶をEXPの右横に移動します。
・INC/+またはDEC/-キーでINH/ACTを設定します。

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

ST [TH]	
OUTPUT H 65%	OUTPUT
B -65%	
H EXP ▶ ACT B	

>ITEM SELECT=ENTER / SK-MONITOR=A

重要

- EXP INH/ACTについて

EXP INH/ACTの設定はメニュー上で切りかえる方法とは別に、キーアサインスイッチ機能で切りかえる方法があります。

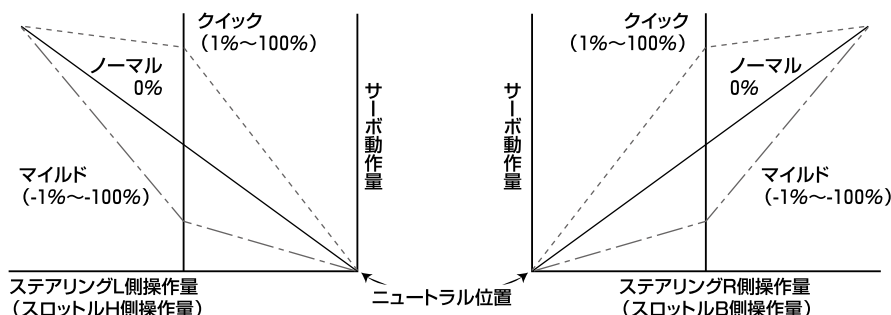
この機能を使うと、どのメニューからでも操作可能になり、走行中にも設定したスイッチで、EXP機能のオン/オフが簡単にできるようになります。(P.49)

アジャスタブルレートコントロール

ARC

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

- ステアリングスティック/スロットルスティックの操作に対して、サーボの動作量を可変させる機能です。設定値をプラス(+)側にするとクイックに。マイナス(-)側にするとマイルドに反応します。また、POINTの設定を調整することで、動作が可変する位置を変えることができます。



[ST] ステアリング・アジャスタブルレートコントロール

- ステアリング特性をマイルド⇄リニア⇄クイックまで可変できます。一般的にRCカーがオーバーステアに感じられるときは設定値をマイナス側に調整し、アンダーステアに感じたときは設定値をプラス側に設定します。

- 1) ファンクションセレクトキーにより、ARC[ST]にカーソルを移動します。
- 2) レートの設定(RATE)
 - ▶がRATEの下にあることを確認し、INC/+、DEC/-キーでARCのRATEを調整します。

○設定範囲 -100%~100%
○初期値 0

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
		[ST] TH RATE 40 POINT 50 L ARC ACT R		
>ITEM SELECT=ENTER / SH-MONITOR=A				

- 3) ポイントの設定(POINT)
 - ENTERキーで▶をPOINTの下に移動して、INC/+、DEC/-キーでPOINTを調整します。

○設定範囲 5~95
○初期値 50

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
		[ST] TH RATE 40 POINT 50 L ARC ACT R		
>ITEM SELECT=ENTER / SH-MONITOR=A				

- 4) ARCのINH/ACT
 - 有効にする場合はACTに、無効にする場合にはINHにします。
 - ・ENTERキーで▶をARCの右横に移動します。
 - ・INC/+またはDEC/-キーでINH/ACTを設定します。

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
		[ST] TH RATE 40 POINT 50 L ARC ACT R		
>ITEM SELECT=ENTER / SH-MONITOR=A				

各機能の使用法

アジャスタブルレートコントロール

ARC

M01:			F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL

[TH] スロットル・アジャスタブルレートコントロール

- スロットル特性をマイルド⇄ニア⇄クイックまで可変できます。一般的に滑りやすい路面やオーバーパワーと感じる時には設定値をマイナス側に調整し、ハイグリップな路面状態やパワーユニットにパワー不足を感じる時には設定値をプラス側に設定します。ハイ側/ブレーキ側を個別に設定可能です。

- 1) ファンクションセレクトキーにより、ARC[TH]にカーソルを移動します。

- 2) レートの設定(RATE)

◀または▶がRATEの下にあるか確認します。スロットルのハイ側を設定する場合、スティックをハイ側に操作し、矢印の向きを◀にします。ブレーキ側を設定する場合は、スティックをブレーキ側に操作し、矢印の向きを▶にします。

INC/+、DEC/-キーでRATEを設定します。

○設定範囲 -100%~100%

○初期値 0

- 3) ポイントの設定(RATE)

ENTERキーで◀または▶をPOINTの下に移動します。スロットルのハイ側を設定する場合、スティックをハイ側に操作し、矢印の向きを◀にします。ブレーキ側を設定する場合は、スティックをブレーキ側に操作し、矢印の向きを▶にします。

INC/+、DEC/-キーでPOINTを設定します。

○設定範囲 5~95

○初期値 50

- 4) ARCのINH/ACT

有効にする場合はACTに、無効にする場合にはINHにします。

- ・ENTERキーで▶をARCの右横に移動します。
- ・INC/+またはDEC/-キーでINH/ACTを設定します。

M01:			F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL
ST [TH] 5			
OUTPUT	RATE	POINT	
	-30	25	
	50	50	
	H ARC	ACT B	
>ITEM SELECT=ENTER / SK-MONITOR=#			

M01:			F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL
ST [TH] 5			
OUTPUT	RATE	POINT	
	-30	25	
	50	50	
	H ARC	ACT B	
>ITEM SELECT=ENTER / SK-MONITOR=#			

M01:			F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL
ST [TH] 5			
OUTPUT	RATE	POINT	
	-30	25	
	50	50	
	H ARC	▶ ACT B	
>ITEM SELECT=ENTER / SK-MONITOR=#			

重要

- ARC INH/ACTについて

ARC INH/ACTの設定はメニュー上で切りかえる方法とは別にキーアサインスイッチ機能で切りかえる方法があります。

この機能を使うと、どのメニューからでも操作可能になり走行中にも設定したスイッチでARC機能のオン/オフが簡単にできるようになります。(P.49)

スピード

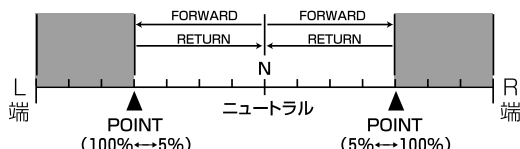
SPEED

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

- サーボのスピードを制御する機能です。ステアリング側ではスムーズなコーナワークが可能となり、スロットル側ではパワーセーブしたスロットルワークでコーナーから安定した立ち上がりを実現します。
- POINT設定でSPEEDが動作する位置を変えることができます。

[ST] ステアリング・サーボスピード

- ステアリング操作に対して、ステアリングサーボのスピードを遅らせる機能です。ステアリングをきるとき(フォワード)と戻るとき(リターン)のスピードを独立して設定できます。なお、設定スピードより遅いステアリング操作ではサーボスピードは動きません。



※ステアリングホイールの位置が
POINTより外側()エリアに
あるときはSPEEDは働きません。

- 1) ファンクションセレクトキーにより、SPEED[ST]にカーソルを移動します。

- 2) フォワード側の設定(FORWARD)

▶がFORWARDの右横にあることを確認し、
INC/+、DEC/-キーでFORWARD側を設定します。

○設定範囲 0～100
○初期値 0

- 3) リターン側の設定(RETURN)

ENTERキーで▶をRETURNの右横に移動して、
INC/+、DEC/-キーでRETURN側を設定します。

○設定範囲 0～100
○初期値 0

- 4) ポイントの設定(POINT)

ENTERキーで▶をPOINTの右横に移動して、
INC/+、DEC/-キーでPOINTを設定します。

○設定範囲 5%～100%
○初期値 100%

- 5) SPEEDのINH/ACTの設定

SPEEDを有効にする場合はACTに、無効の場合には
INHにします。

- ・ENTERキーで▶をSPEEDの右横に移動します。
- ・INC/+またはDEC/-キーでINH/ACTを設定します。

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
SPEED [ST] BR				
FORWARD	0	POINT	100%	
RETURN	0	SPEED	ACT	
L ----- N ----- R				
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=#				

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
SPEED [ST] BR				
FORWARD	0	POINT	100%	
RETURN	▶	SPEED	ACT	
L ----- N ----- R				
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=#				

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
SPEED [ST] BR				
FORWARD	0	POINT	▶ 100%	
RETURN	0	SPEED	ACT	
L ----- N ----- R				
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=#				

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
SPEED [ST] BR				
FORWARD	0	POINT	100%	
RETURN	0	SPEED	▶ ACT	
L ----- N ----- R				
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=#				

補足

- RCカーのドライビングではRCカーの動きにあわせたステアリング操作が重要であり、過大操作は禁物です。ステアリングスピードは無駄な操作をおさえ、スムーズなコーナリングを実現できます。
- ステアリングスピードとステアリングエクスポネンシャルを併用するとさらに効果が倍増します。

各機能の使用法

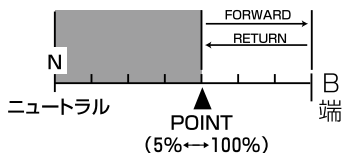
スピード

SPEED

M01:			F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL

[BR] ブレーキング・サーボスピード

●スロットル操作のブレーキに対して、スロットルサーボのブレーキの動作スピードを遅らせる機能です。



1) ファンクションセレクトキーにより、SPEED [BR] にカーソルを移動します。

2) フォワード側の設定 (FORWARD)

▶ が FORWARD の右横にあることを確認し、INC/+、DEC/-キーで FORWARD 側を設定します。

○設定範囲 0～100

○初期値 0

3) リターン側の設定 (RETURN)

ENTERキーで ▶ を RETURN の右横に移動して、INC/+、DEC/-キーで RETURN 側を設定します。

○設定範囲 0～100

○初期値 0

4) ポイントの設定 (POINT)

ENTERキーで ▶ を POINT の右横に移動して、INC/+、DEC/-キーで POINT を設定します。

○設定範囲 5%～100%

○初期値 100%

5) SPEED の INH/ACT の設定

SPEED を有効にする場合は ACT に、無効の場合は INH にします。

- ・ ENTERキーで ▶ を SPEED の右横に移動します。
- ・ INC/+ または DEC/- キーで INH/ACT を設定します。

補足

●ブレーキングスピードとスロットルエクスポネンシャルを併用すると、さらに効果が倍増します。

重要

●SPEED INH/ACT について

SPEED INH/ACT の設定はメニュー上で切りかえる方法とは別に、キーアサインスイッチ機能で切りかえる方法があります。この機能を使うと、どのメニューからでも操作可能になります。走行中にも設定したスイッチで SPEED 機能のオン/オフが簡単にできるようになります。(P.49)

M01:			F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL

SPEED	ST [BR]
FORWARD ▶	0 POINT 100%
RETURN	0 SPEED ACT

N ————— R

>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=A

M01:			F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL

SPEED	ST [BR]
FORWARD	0 POINT 100%
RETURN ▶	0 SPEED ACT

N ————— R

>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=A

M01:			F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL

SPEED	ST [BR]
FORWARD	0 POINT ▶ 100%
RETURN	0 SPEED ACT

N ————— R

>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=A

M01:			F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL

SPEED	ST [BR]
FORWARD	0 POINT 100%
RETURN	0 SPEED ▶ ACT

N—————R

>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=A

アンチロックブレーキ

ALB

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

- アンチロックブレーキにより、グリップが低い路面で安定したブレーキングが可能となります。
- ブレーキングが安定するため、狙い通りのコーナリングラインをトレースすることができます。

1) ファンクションセレクトキーにより、ALBにカーソルを移動します。

2) ポイントの設定 (POINT)

▶がPOINTの右横にあることを確認し、INC/+、DEC/-キーでPOINTを設定します。

- 設定範囲 1%~100%
- 初期値 90%

POINT : ALBの動作を始める位置

3) ストロークの設定 (STROKE)

ENTERキーで▶をSTROKEの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでSTROKEを設定します。

- 設定範囲 0~100
- 初期値 50

STROKE : 繰り返し動作の幅

4) ラグの設定 (LAG)

ENTERキーで▶をLAGの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでLAGを設定します。

- 設定範囲 0.0~2.0
- 初期値 0.5

LAG : ALBが動作を始めるまでのタイムラグ

5) スピードの設定 (SPEED)

ENTERキーで▶をSPEEDの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでSPEEDを設定します。

- 設定範囲 -1~-30
- 初期値 -2

SPEED : 繰り返し動作スピード

6) スイッチの設定 (SW)

ENTERキーで▶をSWの右横に移動して、INC/+、DEC/-でSWを設定します。
PUSH⇄TOGGLE⇄ACTを切りかえることができます。

補足

●RCカーのタイヤがグリップ力を失わない(すべらない)程度にブレーキを強めに効かせ、タイヤがロックしてすべる寸前にアンチロックブレーキが働くように調整してください。

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

ANTI LOCK BRAKE			
POINT ▶	90%	SPEED	-2
STROKE	50	SW	PUSH
LAG	0.5	N	B

バーグラフ POINTの位置
(ブレーキのスティック) (スティック操作がこの位置より
操作を表示) (右側 (B側) ある時にALBが作動)

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

ANTI LOCK BRAKE			
POINT	90%	SPEED	-2
STROKE ▶	50	SW	PUSH
LAG	0.5	N	B

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

ANTI LOCK BRAKE			
POINT	90%	SPEED	-2
STROKE	50	SW	PUSH
LAG ▶	0.5	N	B

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

ANTI LOCK BRAKE			
POINT	90%	SPEED ▶	-2
STROKE	50	SW	PUSH
LAG	0.5	N	B

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

ANTI LOCK BRAKE			
POINT	90%	SPEED	-2
STROKE	50	SW ▶	PUSH
LAG	0.5	N	B

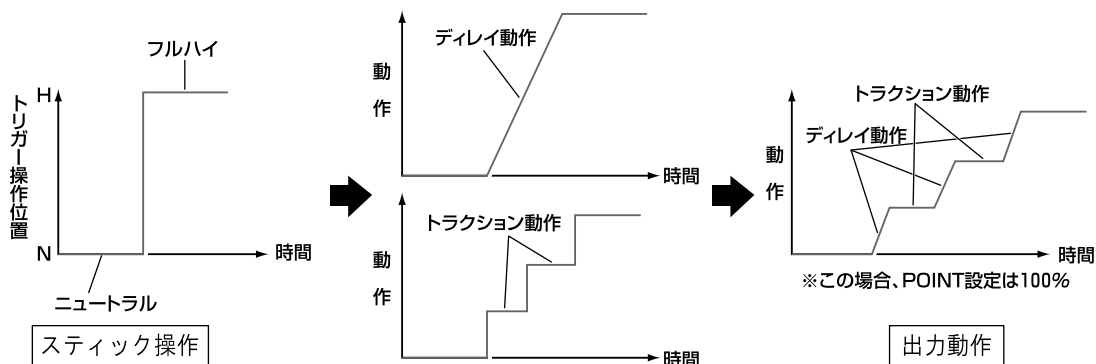
各機能の使用法

トラクションコントロール

TR-CTL

M01:			
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL

- スタートなど急激なスロットル操作にたいしてホイールスピンを防ぎ、より速くスムーズなスタートができます。
- 走行中の加速時にも車体を安定させることができ、より良いフィーリングが得られます。
- 通常のサーボスピードと同じディレイ調整に加え、断続的なロック状態を調整することで、より細かく理想的なフィーリングを造り出すことができます。
- ポイント設定、スイッチ設定(ギアサイン機能)により必要な部分、必要な時に作動させることも可能です。
- この機能は、スロットルのハイ側の動作に対してフォワード側とリターン側を別々に調整できます。



1) ファンクションセレクトキーにより、TR-CTL[FWD]にカーソルを移動します。

2) トラクションの設定(TRACTION)

▶がTRACTIONの右横にあることを確認し、INC/+、DEC/-キーでTRACTIONを設定します。

- 設定範囲 1%~100%
- 初期値 1% INH (オフ)

M01:			
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL
TR-CTL [FWD] RTN			
TRACTION ▶	1%	POINT	50%
DELAY	0%	TR-CTL	INH
H ----- N			
>ITEN SELECT=ENTER / X-MONITOR=#			

フルハイの位置

ポイントの位置

ニュートラルの位置

バーグラフ

(出力動作を確認できる)

3) ディレイの設定(DELAY)

ENTERキーで▶をDELAYの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでDELAYを設定します。

- 設定範囲 0%~100%
- 初期値 0%

M01:			
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL
TR-CTL [FWD] RTN			
TRACTION	1%	POINT	50%
DELAY ▶	0%	TR-CTL	INH
H ----- N			
>ITEN SELECT=ENTER / X-MONITOR=#			

4) ポイントの設定 (POINT)

ENTERキーで▶をPOINTの右横に移動して、INC/+、DEC/ーキーでPOINTを設定します。

○設定範囲 5%~100%

○初期値 50%

※ニュートラル~ポイントまでがトラクションコントロールの動作範囲です。

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
TR-CTL [FWD] RTN				
TRACTION	1%	POINT ▶	50%	
DELAY	0%	TR-CTL	INH	
H ----- N				
▶ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=*				

※

補足

- ポイント (POINT) はスロットルスティックを操作した位置ではなく、動作出力位置のポイントです。ポイントを設定したあとにEPAやARCなどの設定を変更した場合にはポイントの位置が変化します。

5) TR-CTLのINH/ACTの設定

TR-CTLを有効にする場合はACTに、無効にする場合にはINHにします。

- ・ENTERキーで▶をTR-CTLの右横に移動します。
- ・INC/+、DEC/ーキーでINH/ACTを設定します。

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
TR-CTL [FWD] RTN				
TRACTION	1%	POINT	50%	
DELAY	0%	TR-CTL ▶	INH	
H ----- N				
▶ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=*				

6) トラクションコントロールの[RTN]の調整は
[FWD]を参考にして設定してください。**重要**

●TRC-CTL INH/ACTについて

TRC-CTL INH/ACTの設定はメニュー上で切りかえる方法とは別に、キアサインスイッチ機能で切りかえる方法があります。
この機能を使うと、どのメニューからでも操作可能になり走行中にも設定したスイッチでTRC-CTL機能のオン/オフが簡単にできるようになります。(P.49)

各機能の使用法

モデル

MODEL

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	

- モデルセレクト[SELECT], モデルネーム[NAME], モデルコピー/モデルクリア[COPY/CLEAR]についての機能が設定できます。ディスプレイスイッチをONにして設定をおこなってください。
- 大容量EEPROMを内蔵しており、M01～M30の30モデル分のデータを記憶することができます。

[SELECT] モデル・セレクト

- 記憶されているM01～M30のモデルを簡単に呼び出すことができます。
- 呼び出す前のモデルは自動的に保存されるため、データを間違えて消す心配がありません。

1) ファンクションセレクトキーにより、MODEL[SELECT]にカーソルを移動します。

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
[SELECT] NAME COPY/CLEAR				
M01:		M04:		
M02:		M05:		
M03:		M06:		

2) INC/+またはDEC/ーキーで呼び出したいモデルを選択します。

○設定範囲 M01～M30

補足

- 選択した時点でモデルが切りかわります。
- INC/+とDEC/ーキーの同時押しで、モデルM01→M07→M13→M19→M25→M01…とページの頭出しができます。



注意

- 送信機のパワースイッチがONの状態では、モデル・セレクトの設定はおこなえません。送信機のパワースイッチがOFFの状態では、ディスプレイスイッチをONにしてモデル・セレクトをおこなってください。

[NAME] モデル・ネーム

- 各モデルにアルファベット、数字、カナ、記号を12文字までモデル・ネームを登録できます。

1) ファンクションセレクトキーにより、MODEL[NAME]にカーソルを移動します。

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
SELECT [NAME] COPY/CLEAR				
M01:				
>CURSOR RIGHT=ENTER / CURSOR LEFT=▲				

2) ★またはENTERキーでカーソル” ”を文字入力する位置に移動します。

3) INC/+またはDEC/ーキーで文字を選択します。

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
SELECT [NAME] COPY/CLEAR				
M01:				
BCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ				
>CURSOR RIGHT=ENTER / CURSOR LEFT=▲				

○設定範囲 A～Z, a～z, 0～9, 0～9, ア～ン, 、, °, ア～ツ, 記号, スペース

4) 2)、3)を繰り返して入力します。

補足

- INC/+とDEC/ーキーの同時押しで、A→a→O→o→ア→ア→！→スペース→A…とグループの頭出しができます。
- スペースのところに文字を入力する場合、DEC/ーキーから押すと、前文字グループの先頭から選択できるようになります。同じグループの文字を入れる場合に便利です。

[COPY/CLEAR] モデル・コピー/モデル・クリア

- 選択しているモデルのデータを他のモデルへコピーしたり、選択しているモデルに他のモデルのデータをコピーします。
- 選択しているモデルのデータをクリア(初期化)します。

<モデルコピー>

- 1)ファンクションセレクトキーにより、MODEL [COPY/CLEAR]にカーソルを移動します。
- 2)選択しているモデルを他のモデルにコピーする場合は★キーで矢印の方向を▶にします。
他のモデルを選択しているモデルにコピーする場合は★キーで矢印の向きを◀にします。
- 3)INC/+またはDEC/-キーでコピー先または、コピー元のモデルを選択し、ENTERキーで決定します。
- 4)確認の画面が表示されますので、コピーしてもよければINC/+キーを、
中止ならDEC/-キーを押します。
- 5)モデルコピーが実行されればEXECUTING！
と表示し、コピーが完了します。

M01:				F1	FH3F 7.5V
D-RATE	EPA	EXP	ARC		
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL		
SELECT NAME [COPY/CLEAR]					
<MASTER>			<SLAVE>		
M01:	M30:				
	M02:				
	M03:				
>FIX=ENTER / MASTER CHANGE=★					

M01:				F1	FH3F 7.5V
D-RATE	EPA	EXP	ARC		
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL		
SELECT NAME [COPY/CLEAR]					
<SLAVE>			<MASTER>		
M01:	---		CLEAR		
	M02:				
	M03:				
>FIX=ENTER / MASTER CHANGE=★					

M01:				F1	FH3F 7.5V
D-RATE	EPA	EXP	ARC		
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL		
MODEL COPY!					
<MASTER>			<SLAVE>		
M01:	M02:				
	YES=<INC> NO=<DEC>				
>No=ENTER / No=★					

<モデルクリア>

- 1)ファンクションセレクトキーにより、MODEL [COPY/CLEAR]にカーソルを移動します。
- 2)★キーで矢印の方向を◀にします。
- 3)INC/+またはDEC/-キーでCLEARを選択し、ENTERキーで決定します。
※CLEARはM01とM30の間にあります。
INC/+とDEC/-キーの同時押しでもCLEARが選択されます。
- 4)確認の画面が表示されますので、モデルクリアしてもよければINC/+キーを、
中止ならDEC/-キーを押します。
- 5)モデルクリアが実行されればEXECUTING！
と表示し、クリアが完了します。

M01:				F1	FH3F 7.5V
D-RATE	EPA	EXP	ARC		
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL		
SELECT NAME [COPY/CLEAR]					
<SLAVE>			<MASTER>		
M01:	M30:				
	---		CLEAR		
	M03:				
>FIX=ENTER / MASTER CHANGE=★					

M01:				F1	FH3F 7.5V
D-RATE	EPA	EXP	ARC		
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL		
MODEL COPY!					
<MASTER>			<MASTER>		
M01:	---		CLEAR		
	YES=<INC> NO=<DEC>				
>No=ENTER / No=★					



注意

- 送信機のパワースイッチがONの状態では、モデル・コピー/クリアの設定はおこなえません。
送信機のパワースイッチがOFFの状態、ディスプレイスイッチをONにしてモデル・コピー/クリアをおこなってください。

各機能の使用法

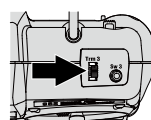
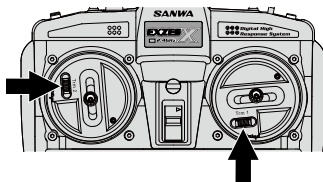
サブトリム

SUB-T

M01:			F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO

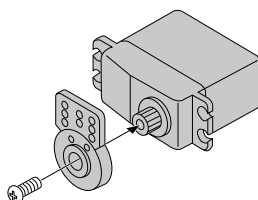
- ステアリング/スロットルのトリムニュートラルを補正し、メイントリムはセンター位置から使えるようにします。リンクージ調整をおこなうとき、このサブトリムで確実にニュートラルを出してください。
- 4CH時のブレーキ側サブトリムにも対応しており3CH、4CH別々に設定可能です。

- 1) リンケージをする前に、各メイントリムをセンター(0)にしてください。



- 2) サーボホーン(サーボセーバーホーン)をサーボ本体のいちばんセンター位置に近いところに取り付けます。

- 3) ファンクションセレクトキーにより、SUB-T[ST]にカーソルを移動します。



FH3F	7.5V
4CH	
STL	
THH	
TRN-S	0/D/R 100
TRN-T	0/EPA-B 100
TRN-B	0/4/B
00:01	SW1 SW2 SW3
MOD SDD	SFO ALE LAF
	INT DWN

- 4) INC/+またはDEC/キーでサブトリムを調整し、ニュートラルを出します。

M01:			F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO
SUB TRIM			
[ST]	TH	3CH	4CH
0	0	0	0
>SH-MONITOR=4			

○設定範囲 100L~100R
○初期値 0

- 5) 他のチャンネルも同じように調整します。

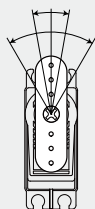


注意

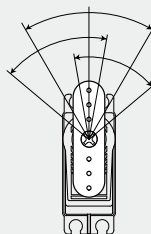
- できるだけサーボ側でニュートラルを出してください。サブトリムとメイントリムの設定が片側によってしまうと、操作してもデッド(サーボが動作しない領域)が出る場合があります。

重要

- トリムとサブトリムについて
トリムとは、サーボのニュートラル位置を調整する機能です。ステアリングサーボを車体に搭載後、走行させて直進しない場合にステアリングのメイントリムを調整します。
また、エンジンRCカーでのキャブレターのニュートラル位置はサーボ搭載後にリンクージ調整と共にスロットルサーボのニュートラル調整(サブトリム)をする必要があります。
ニュートラル位置の調整は、サーボ搭載後におこなうだけでなく、タイヤの磨耗やシャシーのねじれなど走行中の変化に対応するためにも必要になります。
EXZES Xのメイントリムには、動作角の端はそのままニュートラル位置だけを調整するトリム(センタートリム)と動作角の端とニュートラル位置と一緒に動かすトリム(パラレルトリム)の2種類をキープサイントリムの機能で選択できます。(P.50)
サーボホーンを固定する前にサーボのニュートラル位置を調整するサブトリムはパラレルトリムです。



○センタートリム
トリムでニュートラル位置を移動しても動作角の端は動きません。



○パラレルトリム
トリムでニュートラル位置を移動すると動作角の端も一緒に移動します。

タイマー

TIMER

M01:	F21		
SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO

- ラップ、インターバル、ダウン(アップ)の3つのタイマーを備えており、同時に動作させることができます。
- キーアサインスイッチで同時または別々に操作できるため、自由度があり非常に便利です。
- パイプレータを搭載しており、音との連動または単独動作が可能です。
- 他メニューからでも動作状態が確認できます。(常時表示画面)

[LAP] ラップ・タイマー

- 99周までの各ラップ計測、記録ができます。(モデル共通)
- プリアラーム(PRE-ALM)を搭載しており、ゴール前に鳴るアラームの時間を自由に設定できます。
- ベストラップ(BEST)、平均ラップ(AVE)、トータル(TOTAL)がリアルタイムで表示されます。

1) ファンクションセレクトキーにより、TIMER [LAP] にカーソルを移動します。

M01:	F21		
SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO
[LAP]	INT	DOWN	
▶ ON	GOAL 60' 00	PRE-ALM: 5S	
BEST	DL 00'' 00	AVE 00'' 00	
TOTAL	DL	00' 00'' 00	
>ITEN SELECT=ENTER / LAP TIME=A			

2) ラップ・タイマーのON/OFFの設定

- ▶ がLAPの下にあることを確認し、INC/+またはDEC/-キーを押してONにします。

3) ゴールタイム(GOAL)の設定

- ENTERキーで▶をGOALの左横に移動してINC/+またはDEC/-キーでゴールタイムを設定します。

○設定範囲 00' 10" ~ 60' 00

10" 単位

○初期値 60' 00

M01:	F21		
SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO
[LAP]	INT	DOWN	
ON	GOAL 60' 00	PRE-ALM: 5S	
BEST	DL 00'' 00	AVE 00'' 00	
TOTAL	DL	00' 00'' 00	
>ITEN SELECT=ENTER / LAP TIME=A			

4) プリアラーム(PRE-ALM)の設定

- ENTERキーで▶をPRE-ALMの左横に移動してINC/+またはDEC/-キーで設定します。

○設定範囲 OFF, 1S~20S

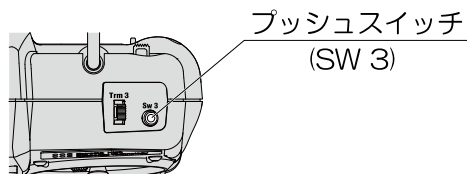
○初期値 5S

M01:	F21		
SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO
[LAP]	INT	DOWN	
ON	GOAL 60' 00	▶ PRE-ALM: 5S	
BEST	DL 00'' 00	AVE 00'' 00	
TOTAL	DL	00' 00'' 00	
>ITEN SELECT=ENTER / LAP TIME=A			

※プリアラームとは設定したゴールタイムの何秒前からアラームを鳴らすかの機能です。

5) ラップ・タイマーのスイッチは初期値でSW3に設定されています。SW3を押すと計測がスタートします。

6) SW3を押すたびにラップタイムが計測されます。スタートしてから3秒間はスイッチは動きません。



重要

●タイマースイッチについて

タイマースイッチはキーアサインスイッチ機能で他のスイッチに自由に割り当てることができます。お好みの位置に設定してください。(P.49)

各機能の使用法

タイマー

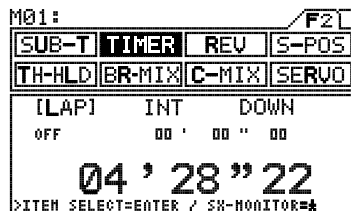
TIMER

[LAP] ラップ・タイマー

7) 計測終了

計測終了は3種類の方法があります。

- ・ゴールタイムに達したあとにタイマーのスイッチを押した場合。
- ・ラップ・タイムのメニュー時にINC/+とDEC/-キーを同時押し。
- ・タイマーのスイッチを3秒間押し続けた場合。



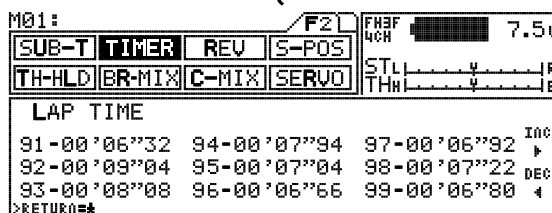
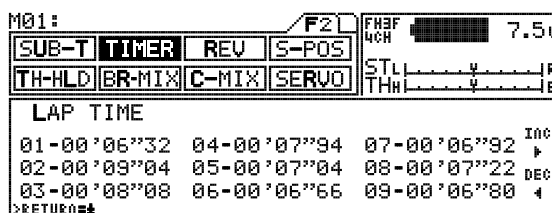
8) 計測結果の確認

タイマーが停止している状態で、TIMER[LAP]メニューで、

★キーにより確認できます。

画面には9周分表示され、INC/+またはDEC/-キーで改ページできます。

INC/+とDEC/-の同時押しで1～9周目が表示されます。

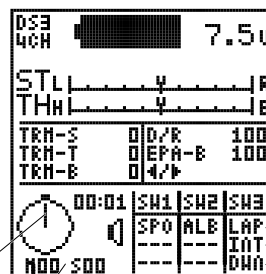


9) 常時表示画面

タイマーの状態は常時表示画面に表示されており、

他メニューからでも確認できます。

※タイマー表示部に表示される優先順位は、キアサインスイッチで設定されているFUNC1>FUNC2>FUNC3となっており、右図の場合は、FUNC1に設定されているLAPの表示となります。



針が回転中は
タイマーが動作中

タイマー表示部(※LAP)

FUNC1

FUNC2

FUNC3



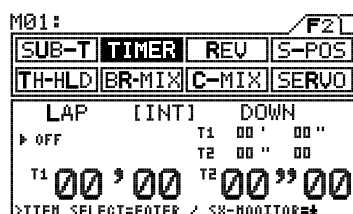
注意

- 一度計測をスタートすると、前回計測のLAPはクリアされます。またラップクリアだけの機能はありません。
- 計測を終了すると、タイマーの機能がOFFになります。再度スタートするには、2)の手順でタイマー機能をONにしてください。

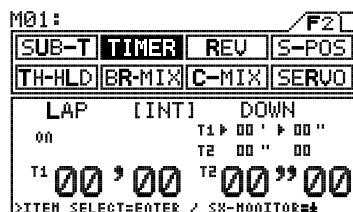
[INT] インターバル・タイマー

- 走行時に設定したタイムをアラームで知らせ、目標タイムの目安とします。
- 2種類のインターバル・タイマーを持っており、同時に動作可能です。アラーム音も別々に設定できます。

1) ファンクションセレクトキーにより、TIMER [INT] にカーソルを移動します。

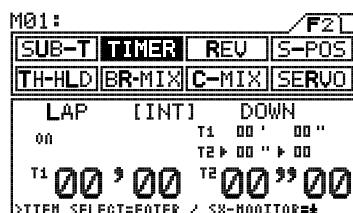


2) インターバル・タイマーのON/OFFの設定
▶がLAPの下にあることを確認し、INC/+またはDEC/-キーを押してONにします。



3) インターバル・タイマー(T1)の設定
ENTERキーで▶をT1の右横に移動してINC/+またはDEC/-キーで設定します。
ENTERキーで設定する項目を移動します。

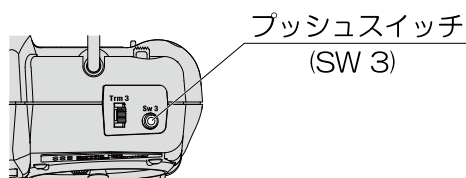
- 設定範囲 (T1) 00' 01" ~ 99' 59"
- 初期値 00' 00"
- ※00' 00" では、インターバル・タイマー(T1)は動作しません。



4) インターバル・タイマー(T2)の設定
ENTERキーで▶をT2の右横に移動してINC/+またはDEC/-キーで設定します。
ENTERキーで設定する項目を移動します。

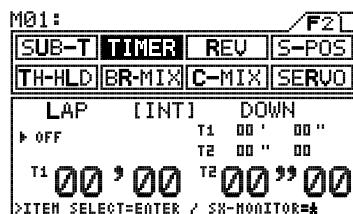
- 設定範囲 (T2) 00" 10 ~ 59" 90
- 初期値 00" 00
- ※00" 00 では、インターバル・タイマー(T2)は動作しません。

5) インターバル・タイマーのスイッチは初期値でSW3に設定されています。SW3を押すと計測がスタートします。



6) SW3を押すと、インターバル・タイマーがリセットされて再計測になります。

7) 計測終了
計測の終了は2種類の方法があります。
・インターバル・タイマーのメニュー時にINC/+とDEC/-キーを同時押し。
・タイマーのスイッチを3秒間押し続けた場合。



8) 常時表示画面
ラップ・タイマーの9)を参照してください。



注意

- 計測を終了すると、タイマーの機能がOFFになります。
再度スタートするには、2)の手順で機能をONにしてください。
- タイマースイッチについて
タイマースイッチは、キーアサインスイッチ機能で他のスイッチに自由に割り当てることができます。お好みの位置に設定してください。(P.49)

各機能の使用法

タイマー

TIMER

M01: F2
SUB-T TIMER REV S-POS
TH-HLD BR-MIX C-MIX SERVO

[DOWN] ダウン・タイマー

- 電動RCカーの走行時間やエンジンRCカーでの燃費計算の目安になります。
- 99' 59" 90まで1/10秒単位で設定できます。
- ダウン・タイマー終了後、アップ・タイマーに切りかわり、終了後の経過時間が確認できます。
(1分毎のアラームあり)

1) ファンクションセレクトキーにより、TIMER [DOWN] にカーソルを移動します。

M01: F2
SUB-T TIMER REV S-POS
TH-HLD BR-MIX C-MIX SERVO
LAP INT [DOWN]
▶ OFF 00' 00" 00
00' 00" 00
>ITEN SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*

2) ダウン・タイマーのON/OFFの設定
▶ がLAP表示の下にあることを確認し、INC/+またはDEC/-キーでONにします。

3) ダウン・タイマー(分)の設定
ENTERキーで▶を00'の左横に移動してINC/+またはDEC/-キーで設定します。

- 設定範囲 00' ~99' 1' 単位(1分単位)
- 初期値 00'

4) ダウン・タイマー(秒)の設定
ENTERキーで▶を00"の左横に移動してINC/+またはDEC/-キーで設定します。

- 設定範囲 00" ~59" 1" 単位(1秒単位)
- 初期値 00"

M01: F2
SUB-T TIMER REV S-POS
TH-HLD BR-MIX C-MIX SERVO
LAP INT [DOWN]
▶ OFF 00' 00" 00
00' 00" 00
>ITEN SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*

分 秒 1/10秒

5) ダウン・タイマー(1/10秒)の設定
ENTERキーで▶を00の左横に移動してINC/+またはDEC/-キーで設定します。

- 設定範囲 00~90 1/10秒単位
- 初期値 00
- ※00' 00" 00では、ダウン・タイマーは動作しません。

6) ダウン・タイマーのスイッチは初期値でSW3に設定されています。
SW3を押すと計測がスタートします。

7) ダウン・タイマー動作中にSW3を押すと、ダウン・タイマーが
リセットされ、設定値から再スタートします。

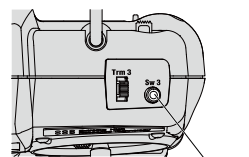
8) 計測終了

計測の終了は、2種類の方法があります。

- ・ダウン・タイマーのメニュー時にINC/+とDEC/-キーを同時押し。
- ・タイマーのスイッチを3秒間押し続けた場合。

9) 常時表示画面

ラップ・タイマーの9)を参照してください。(P.31)



プッシュスイッチ
(SW 3)



注意

- 計測を終了すると、タイマーの機能がOFFになります。
再度スタートするには、2)の手順で機能をONにしてください。
- タイマースイッチについて
タイマースイッチは、キーアサイン機能で他のスイッチに自由に割り当てることができます。
お好みの位置に設定してください。(P.49)

サーボリバース

REV

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

- サーボの動作方向を切りかえる機能で、ステアリングホイール、スロットトリガー等の操作方向と車体側の動作が逆の場合に使用します。
- 4CHすべて設定することができます。

1) ファンクションセレクトキーにより、REV[ST]
にカーソルを移動します。

2) INC/+またはDEC/-キーでサーボの動作方向を
合わせてください。

- 設定範囲 NOR/REV
- 初期値 NOR

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
REVERSE				
[ST]	TH	3ch	4ch	
NOR	NOR	NOR	NOR	
>SX-MONITOR=#				

3) 他のチャンネルを設定する場合は、ファンクションセレクトキーで
設定するチャンネルを選択して、INC/+、DEC/-キーで調整します。



注意

- サーボリバースでサーボの動作方向を変更した場合、サーボのニュートラル位置が変わることがあります。その場合はサブトリムで再度ニュートラル調整をしてください。(P.29)

各機能の使用法

スターティングポジション

S-POS

- エンジンRCカーのエンジン始動時にアイドルリングを少し上げることで、エンジンの始動性が向上します。
- 3CH、4CHでブレーキを使用している場合、スティック操作に関係なく一定のブレーキをかけて、安全にエンジンを始動することができます。
- オフセットの機能で様々なパワーソースに対応できます。
- S-POSスイッチがONの時に機能が働きます。

1) ファンクションセレクトキーにより、S-POSにカーソルを移動します。

2) S-POSの設定

- ▶ がS-POS表示の右横にあることを確認して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

○ 設定範囲 -100%~100%

○ 初期値 0%

3) アラームの設定

- ENTERキーで▶をALARMの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

○ 設定範囲 ON/OFF

○ 初期値 ON

4) オフセットの設定

- ENTERキーで▶をOFFSETの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

○ 設定範囲 INH/NEUT/BR

○ 初期値 INH

・ オフセット量の設定

- ENTERキーで▶をS-POSの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

5) ブレーキ・ロックの設定

- ・ ENTERキーで▶をOFFSETの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーでBRの設定にします。
- ・ ENTERキーで▶をBRAKE-POINTの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーでブレーキの位置を設定します。

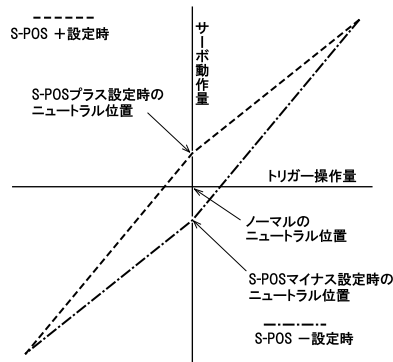
○ 設定範囲 0~100%

○ 初期値 0%

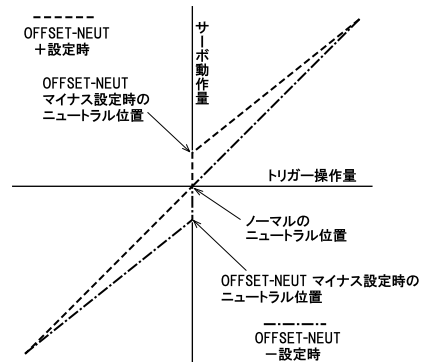
- ※ 4CH選択時にOFFSETがBRの設定時に有効になり、S-POSスイッチがONの時、スティック操作にかかわらずブレーキCHが設定した値で固定されます。

- ※ 2CH選択時にはブレーキ・ロックの設定はおこなえません。

M01: F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO



M01: F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO
STARTING POSITION			
S-POS	▶ 0%	OFFSET	INH
ALARM	ON	N	B
ITEM SELECT=ENTER / SW-MONITOR=A			



M01: F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO
STARTING POSITION			
S-POS	0%	OFFSET	▶ BR
ALARM	ON	N	BRAKE-POINT 0%
ITEM SELECT=ENTER / SW-MONITOR=A			

重要

● S-POSスイッチについて

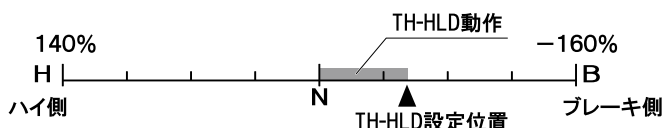
S-POSスイッチは、キーアサインスイッチ機能で他のスイッチに自由に割り当てることができます。お好みの位置に設定してください。(P.49)

スロットルホールド

TH-HLD

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

- RCポート等のエンジンを設定したスイッチのワンブッシュで止めることができます。
- 走行時、緊急のブレーキに使用できます。(スイッチを押している間はスティック操作を受けつけません。)
- エンジンRCカーの給油時に、エンジンが止まらないようにアイドルリングを上げた位置に固定できます。



- 1) キーアサインスイッチでTH-HLDをお好みのスイッチ位置に割り当てます。(P.49)
※TH-HLDはスイッチを押している間だけ働きます。

- 2) ファンクションセレクトキーにより、TH-HLDにカーソルを移動します。

- 3) ▶ が設定値の左横にあることを確認して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

○設定範囲 -160%~140%

○初期値 0%

- ※TH-HLDがONの時は、操作位置に関係なく設定したサーボ位置に固定されます。

- 4) TH-HLD INH/ACTの設定
ENTERキーで▶をTH-HLDの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

- ※通常この機能はINHで使用します。ACTにした場合は設定したスイッチを押すとHOLDが解除されます。

- 5) HOLD-3CHの設定
ENTERキーで▶をHOLD-3CHの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

- ※3CH-BRAKE ACTの時に有効です。
(BR-MIX P.37参照)

- 6) HOLD-4CHの設定
ENTERキーで▶をHOLD-4CHの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

- ※4CH選択時に有効です。

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

THROTTLE-HOLD			
▶ 0%	HOLD	3CH	ON
TH-HOLD	INH	4CH	ON
H		N	B

>ITEN SELECT=EATER / SX-MONITOR=#

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

THROTTLE-HOLD			
0%	HOLD	3CH	ON
TH-HOLD▶	INH	4CH	ON
H		N	B

>ITEN SELECT=EATER / SX-MONITOR=#

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

THROTTLE-HOLD			
0%	HOLD	3CH	ON
TH-HOLD	INH	4CH▶	ON
H		N	B

>ITEN SELECT=EATER / SX-MONITOR=#

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

THROTTLE-HOLD			
0%	HOLD	3CH	ON
TH-HOLD	INH	4CH▶	ON
H		N	B

>ITEN SELECT=EATER / SX-MONITOR=#

各機能の使用法

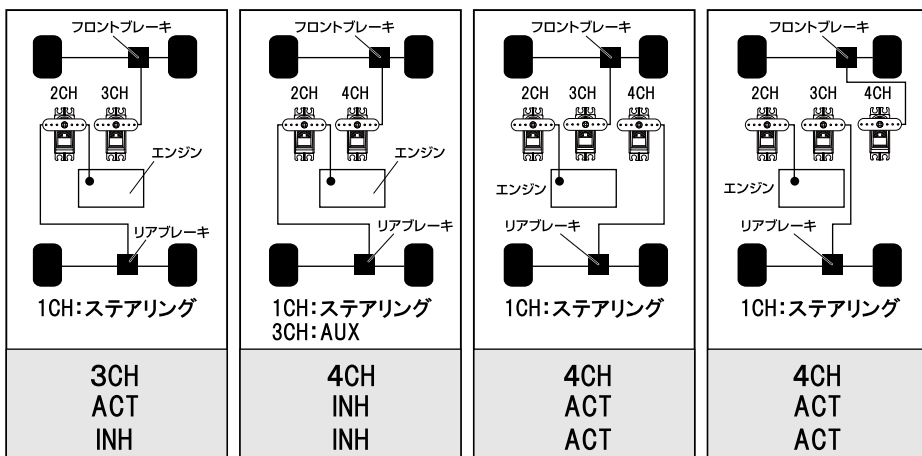
ブレーキミキシング

BR-MIX

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

- 1/5スケールのエンジンRCカーで前後のブレーキに2サーボを使用する等のミキシング機能です。
- チャンネル別にREV、EPA、SUB-T、SPEEDが設定でき、各種の調整に柔軟に対応できます。
- スロットルトリムとは別に、ブレーキトリムがあり、個別に操作できます。
- スロットルチャンネル(2CH)のブレーキ側を使用しない場合、ブレーキ側の動作を止めることができます。(TH-BRAKE CUT機能)

●各種設定について



※他にも対応可能なタイプも存在します。

1) ファンクションセレクトキーにより、BR-MIXにカーソルを移動します。

2) DERAYの設定

< 2CH >

▶ がDERAY-2CH表示の右横にあることを確認して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

< 3CH >

ENTERキーで▶をDERAY-3CHの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

< 4CH >

ENTERキーで▶をDERAY-4CHの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
BRAKE-MIXING				
DELAY	2CH	0%	3CH-	ACT
	3CH	0%	BRAKE	
	4CH	0%	TH-BRAKE	INH
			CUT	
>ITEN SELECT=ENTER / SX-MONITOR=#				

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
BRAKE-MIXING				
DELAY	2CH	0%	3CH-	ACT
	3CH	0%	BRAKE	
	4CH	0%	TH-BRAKE	INH
			CUT	
>ITEN SELECT=ENTER / SX-MONITOR=#				

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
BRAKE-MIXING				
DELAY	2CH	0%	3CH-	ACT
	3CH	0%	BRAKE	
	4CH	0%	TH-BRAKE	INH
			CUT	
>ITEN SELECT=ENTER / SX-MONITOR=#				

3) 3CH-BRAKEのINH/ACTの設定

ENTERキーで▶を3CH-BRAKEの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

※3CH目をブレーキとAUXのどちらに設定するかを選択です。ACTでブレーキチャンネルになります。

M01: F2

SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO

BRAKE-MIXING

DELAY	2CH	0%	3CH-	0%	3CH-BRAKE ▶ ACT
	3CH	0%			TH-BRAKE INH
	4CH	0%			CUT

>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=A

4) TH-BRAKE CUTのINH/ACTの設定

ENTERキーで▶をTH-BRAKE CUTの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

※THチャンネル(2CH)でブレーキを使用しない場合、TH-BRAKE CUTの設定をACTにすると2CHのブレーキ側は動作しなくなり、リンケージが容易になります。また、THチャンネル(2CH)でブレーキを使用するタイプと比較すると、サーボ動作のタイムラグもなくなります。

M01: F2

SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO

BRAKE-MIXING

DELAY	2CH	0%	3CH-	0%	3CH-BRAKE ACT
	3CH	0%			TH-BRAKE ▶ INH
	4CH	0%			CUT

>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=A

重要

- 2CH選択時にはTH-BRAKE CUTの機能を使用しないでください。
- セットアップメニュー(SET-UP)で4CHを選択してから設定してください。
2CHで使用すると、設定メニューが一部しか出てきません。(DS2設定時)
- 4CH選択(SET-UP)、3CH-BRAKE設定は、車体のリンケージをする前におこなってください。(REV、EPA、SUB-T調整の前におこなってください。)

各機能の使用法

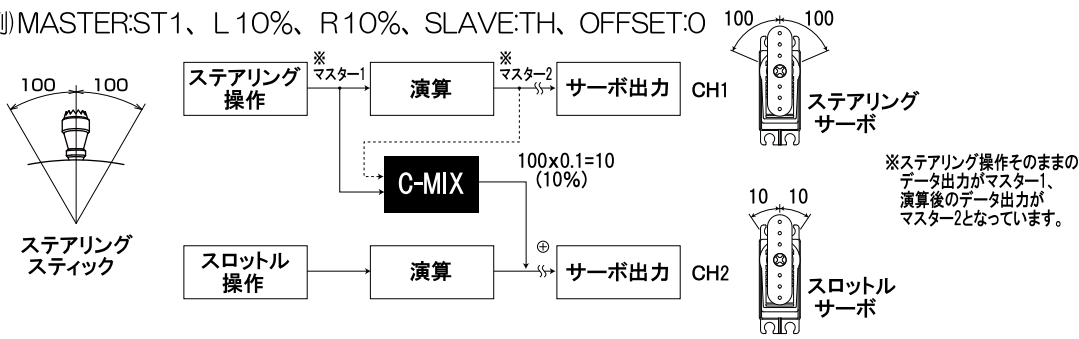
コンペンセーションミキシング

C-MIX

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

- 各チャンネル間のミキシング、チャンネル自身へのミキシングができます。
- マスターチャンネルは、直データまたは演算とトリムを含んだデータのどちらかを選択できます。
- C-MIXは2系統あり、同時に動作可能です。
- オフセット機能を持ち、マスターミキシングの基点を移動することができます。
- 走行中にC-MIXのON/OFFが簡単にできます。(キアサインスイッチ機能 P.49)
- グラフ表示でわかりやすく設定できます。

例) MASTER:ST1、L 10%、R 10%、SLAVE:TH、OFFSET:0



補足

通常ステアリングの制御は、ステアリング操作→演算→サーボ出力(CH1)です。
C-MIXの機能は上図のようにステアリングを100動かすと、CH1のサーボが100動くと同時に、ステアリング操作の10%(10)、CH2のサーボを動作させるものです。
その時のステアリング(CH1)をマスター(MASTER)といい、10%動作させるCH2をスレーブ(SLAVE)といいます。

- 1)ファンクションセレクトキーにより、C-MIXにカーソルを移動します。
- 2)▶がMASTERの右横にあることを確認して、INC/+またはDEC/-キーでマスターCHを設定します。

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
[C-MIX1]		C-MIX2		
MASTER ▶	ST1	SLAVE	TH	
L	0%	OFFSET	0	
R	0%	C-MIX	INH	
>ITEM SELECT=ENTER / GRAPH=A				

設定値	名 称	マスター出力データ内容
・ST1	ステアリングマスター1	ステアリング動作だけ
・ST2	ステアリングマスター2	ステアリングにD/R、EPA、EXP、ARC、SPEED、トリム(サブトリム含む)演算を含んだ動作
・TH1	スロットルマスター1	スロットル動作だけ
・TH2	スロットルマスター2	スロットルにEPA、EXP、ARC、SPEED、TR-CTL、S-POS、BR-MIX、トリム(サブトリム含む)演算を含んだ動作
・AUX1 ※	AUXマスター1	AUX動作だけ
・AUX2 ※	AUXマスター2	AUXにEPA演算を含んだ動作

※2CH選択時、3CH-BRAKE ACT時(4CH選択時)には設定できません。

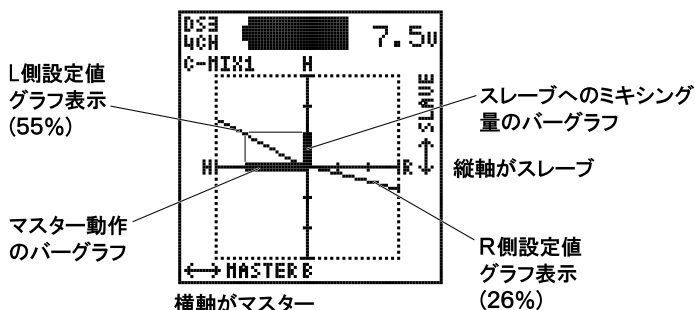
3) ミキシング量の設定

<Left/High>

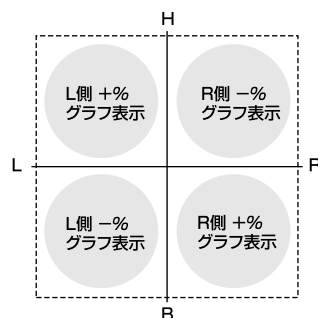
ENTERキーで▶をL(H)の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

<Right/Brake/Low>

ENTERキーで▶をR(B/L)の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。



M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
[C-MIX1]		C-MIX2		
MASTER	ST1	SLAVE	TH	
L	55%	OFFSET	0	
R	26%	C-MIX	INH	
>ITEM SELECT=ENTER / GRAPH=#				



★キーを押すと、常時表示画面にグラフが表示されます。

4) スレーブCH(SLAVE)の設定

ENTERキーで▶をSLAVEの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

○設定範囲 ST, TH, AUX, BR

※AUX設定は、3CH-BRAKE INH/ACTにかかわらず、3CH目のスレーブとなります。

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
[C-MIX1]		C-MIX2		
MASTER	ST1	SLAVE	TH	
L	55%	OFFSET	0	
R	26%	C-MIX	INH	
>ITEM SELECT=ENTER / GRAPH=#				

5) オフセット量(OFFSET)の設定

ENTERキーで▶をOFFSETの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
[C-MIX1]		C-MIX2		
MASTER	ST1	SLAVE	TH	
L	55%	OFFSET	-18	
R	26%	C-MIX	INH	
>ITEM SELECT=ENTER / GRAPH=#				

各機能の使用法

コンペンセーションミキシング

C-MIX

M01:

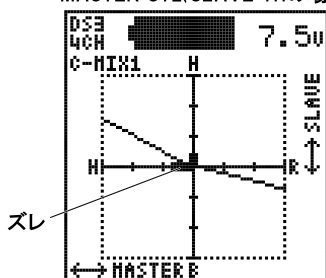
F2

SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO

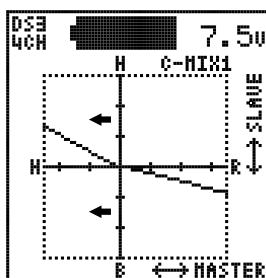
オフセット機能の使い方

①マスター2の時にトリムのずれをOFFSETで補正する方法

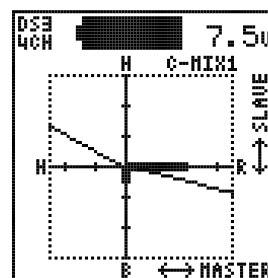
MASTER ST2,SLAVE THの場合



- ステアリングをニュートラル位置にした時、トリムなどで上図のようにバーグラフにスレがある場合



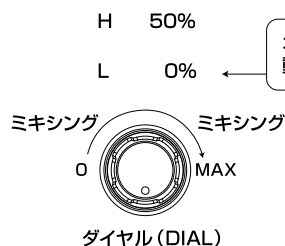
- オフセットの値を一側に調整して縦軸を左に移動して、バーグラフのスレを消す。



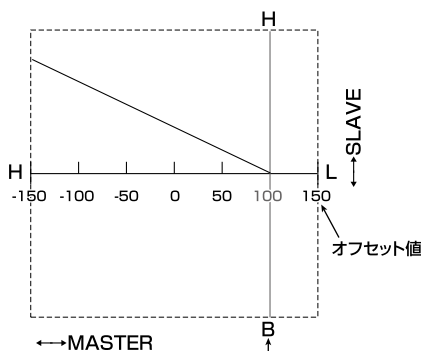
- スレが消える位置に調整すれば、ステアリングのニュートラル位置を基点にミキシングをかけることができる。

②マスターのミキシングの基点を変える場合にダイヤル(AUX)等で左に一杯廻した時にミキシングがかからずに、右に一杯廻した時にミキシングを最大にする場合

●MASTER:AUX1, OFFSET:100



オフセット100だとL側は動作しないので0%でよい



マスターがAUX1の場合、100を越えて動作しないのでオフセットの値は100でよい。

重要

- C-MIXについて
C-MIXはC-MIX1とC-MIX2の2系統あり、同時に使用することができます。
- C-MIX INH/ACTについて
C-MIX INH/ACTの設定は、メニュー上で切りかえる方法とは別に、キーアサインスイッチ機能で切りかえる方法があります。この機能を使うと、どのメニューからでも操作可能になります。走行中でも設定したスイッチで機能のON/OFFの切りかえを簡単におこなえます。(P.49)

補足

- スレーブとマスターを同じチャンネルにすると、自分自身にミキシングがかかり、プラス側になると舵角が広がり、マイナス側になると狭くなります。
走行中にスイッチで切りかえてフィーリングを変えることにより、セッティングとして使うことができます。

サーボモニター

SERVO

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

- 各チャンネルの出力動作がバーグラフで表示され、仮想的にサーボの動きが確認できます。
- 各機能の設定時に利用すると、調整の状態がわかりやすくなります。
- 常時表示画面に表示することができ、各機能の設定画面と同時に見ることができます。
(一部表示できないメニュー画面もあります。)

1) ファンクションセレクトキーにより、SERVOにカーソルを移動します。

M01:				F2
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
SERVO MONITOR				
STEERING	L			R
THROTTLE	H			B
3CH: AUX	H			L
4CH: BRAKE	H			B
>SX-MONITOR=*				

バーグラフ表示

2) 常時表示画面の呼び出し方法

各メニューで、★キーを押して呼び出します。
再度押すと通常の常時表示画面に戻ります。

例) BATTメニュー

M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
SANWA		ON TIME	00:01	
EXTRA			7.5V	
>USER NAME=ENTER / SX-MONITOR=*				

↑ ↓
SX-MONITOR=*

サーボモニター表示

3) 呼び出し可能なメニュー

F1	F2	F3
①D-RATE	①SUB-T	①F-SAFE ※2
②EPA	②TIMER ※1	②VR-ADJ
③EXP	③REV	③BATT
④ARC	④S-POS	※2[B-FAIL SAFE]のみ
⑤SPEED	⑤TH-HLD	呼び出し可能。
⑥ALB	⑥BR-MIX	
⑦TR-CTL	⑦SERVO	
	※1[LAP]からは	
	呼び出せません。	

補足

- サーボモニターには、REVは反映されません。

各機能の使用法

セットアップ

SET-UP

[SYSTEM]

- SET-UPの[SYSTEM]でLCD(液晶)のコントラスト(濃淡)調整、バイブレータのON/OFF、オープニングロゴのON/OFF、バックライト色の選択、バックライトの点灯モードを設定します。

1) ファンクションセレクトキーにより、SET-UPにカーソルを移動します。

2) [SYSTEM] コントラスト(CONTRAST)の調整
ENTERまたは★キーで▶をCONTRAST表示の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーでLCDコントラスト(濃淡)を調整します。

- 設定範囲 0%~100%
- 初期値 80%

3) [SYSTEM] バイブレータ(VIBRATOR)のINH/ACTの設定
ENTERキーまたは★キーで▶をVIBRATOR表示の右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでバイブレータのINH/ACTを設定します。

※ACTにすると、タイマー、タイマーアラーム、バッテリーアラーム、送信機電源投入時にバイブレータが振動します。

- 初期値 INH

4) [SYSTEM] オープニングロゴ(OP LOGO)の設定
ENTERキーまたは★キーで▶をOP LOGO表示の右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでオープニングロゴのINH/ACTを設定します。

※INHにすると、電源投入時にオープニングロゴが流れません。

- 初期値 ACT

M01:			F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT

M01:		F3	
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT
[SYSTEM] MOD BIND			
1: CONTRAST	▶ 80%		
2: VIBRATOR	INH		
3: OP LOGO	ACT		
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=▲			

M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
[SYSTEM] MOD BIND				
1: CONTRAST		80%		
2: VIBRATOR		▶INH		
3: OP LOGO		ACT		
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=★				

M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
[SYSTEM] MOD BIND				
1: CONTRAST		80%		
2: VIBRATOR		INH		
3: OP LOGO		▶ACT		
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=★				

- 5) [SYSTEM] ライトカラー(LIGHT-COLOR)の設定
ENTERキーまたは★キーで▶をLIGHT-COLOR表示の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーでバックライトの色を設定します。

- WHITE 白色バックライト
- BLUE 青色バックライト
- 初期値 WHITE

M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
[SYSTEM] MOD BIND				
4: LIGHT-COLOR		▶WHITE		
5: LIGHT-MODE		KEY-ON		
6: LIGHT-TIME		10sec		
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=★				

- 6) [SYSTEM] ライトモード(LIGHT-MODE)の設定
ENTERキーまたは★キーで▶をLIGHT-MODE表示の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーでバックライト点灯の設定をします。

- KEY-ON LIGHT-TIMEで設定した時間内にキー操作がないとバックライトが消灯します。
- ALWAYS 常にバックライトが点灯します。
- OFF バックライトが消灯します。
- 初期値 KEY-ON

M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
[SYSTEM] MOD BIND				
4: LIGHT-COLOR		WHITE		
5: LIGHT-MODE		▶KEY-ON		
6: LIGHT-TIME		10sec		
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=★				

- 7) [SYSTEM] ライトタイム(LIGHT-TIME)の設定
ENTERキーまたは★キーで▶をLIGHT-TIME表示の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。
※LIGHT-MODEでKEY-ONに設定していないとライトタイムの設定はできません。

- 設定範囲 1sec~30sec
- 初期値 10sec

M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
[SYSTEM] MOD BIND				
4: LIGHT-COLOR		WHITE		
5: LIGHT-MODE		KEY-ON		
6: LIGHT-TIME		▶10sec		
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=★				

各機能の使用手法

セットアップ

SET-UP

[MOD]

●SET-UPの[MOD]でお使いになる受信機にあわせて出力方式の選択や、使用するサーボ(アナログ/デジタル)やFETスピードコントローラーに合わせてモードの調整をおこないます。
注)送信機のパワースイッチがOFFの状態、ディスプレイスイッチをONにして[MOD]の設定をおこなってください。

1)ファンクションセレクトキーにより、SET-UPにカーソルを移動します。

2)[MOD] タイプ(TYPE)の設定
ENTERまたは★キーで▶をTYPE表示の右横に移動して、使用する受信機にあわせて出力方式を設定します。
INC/+またはDEC/-キーで切りかえます。

- 出力方式 FH3 (RX-451)フルレンジモード
FH3F (RX-451)ナローレンジモード
DS2 (RX-442DS、RX-371専用)
- 初期値 FH3F

※受信機にあわせて出力方式を設定してください。出力方式があわないと受信機が動作しません。
※サーキット等でDSSS方式と同時に使用する場合は出力方式を必ずFH3Fで使用してください。
FH3は電波の出力帯域が広くDSSS方式に影響をあたえる可能性があります。
※RX-442DS、RX-371を使用する場合は設定をDS2に変更してください。

3)[MOD] チャンネル(CHANNEL)の設定
ENTERキーまたは★キーで▶をCHANNEL表示の右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでチャンネルの設定をします。

- 2CH CH1 ステアリング(ST)
CH2 スロットル(TH)
- 4CH CH1 ステアリング(ST)
CH2 スロットル(TH)
CH3 AUXまたはブレーキ(BR)等
CH4 ブレーキ(BR)

※DS2のみチャンネル設定が可能です。

4)[MOD] レスポンスモードの設定
ENTERキーまたは★キーで▶を各チャンネル表示の右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでレスポンスモードの設定をします。
※各チャンネルごとにレスポンスモードを設定できます

- NORモード(ノーマル) ※RX-451使用でアナログサーボが動作
SHRモード(ハイレスポンス) ※RX-451Rの場合、表示はNOR
SSRモード(スーパーレスポンス) ※RX-451Rのみ可能で表示はSHR
- 初期値 NOR

注)バインド後にTYPE、レスポンスモードを変更しても再バインドするまで設定の変更は反映されませんのでご注意ください。
変更した場合には必ずバインドしてください。

M01:	SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
	F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT

M01:	SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
	F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT
SYSTEM [MOD] BIND				
TYPE ▶FH3F				
CHANNEL 4 ST NOR 3CH NOR				
TH NOR 4CH NOR				
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=★				

M01:	SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
	F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT
SYSTEM [MOD] BIND				
TYPE DS2				
CHANNEL ▶ 4				
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=★				

M01:	SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
	F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT
SYSTEM [MOD] BIND				
TYPE FH3F				
CHANNEL 4 ST ▶SHR 3CH▶NOR				
TH ▶SHR 4CH▶NOR				
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=★				



注意

- 送信機のパワースイッチがONの状態では、[MOD]の設定はおこなえません。
送信機のパワースイッチがOFFの状態、ディスプレイスイッチをONにして[MOD]の設定をおこなってください。

重要

- SHRモード、SSRモード(RX-451R使用時)ではアナログサーボは動作しませんのでご注意ください。誤ってSHR、SSRモードでアナログサーボを使用すると、正常に動作せずサーボが壊れますので、絶対にSHR、SSRモードでアナログサーボを使用しないでください。
アナログサーボを使用する場合は必ずRX-451を使用してNORモードに設定してください。
デジタルサーボの場合はNOR、SHRモードのどちらでも動作します。
SSRモードはSRGサーボしか使用できませんのでご注意ください。
- SHRモード、SSRモードではBL-RACER、BL-FORCE、F2000、F2200、F3000、F3300、SBL-01は動作しません。必ずNORモードでご使用ください。

[BIND]

●BIND(バインド)とは:EXZES X送信機はそれぞれ固有のID(固体識別)番号をもっており、そのID番号を受信機に記憶させること(BIND/バインド)です。バインドした送信機と受信機のセットでしか動作しないようになります。

1)[BIND] バインドの設定

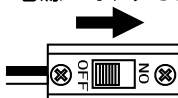
送信機の電源スイッチがONになっていることを確認します。次にファンクションセレクトキーにより、BINDにカーソルを移動します。

2)受信機のBINDボタンを押しながら、受信機側の電源スイッチをONします。



受信機のBIND
ボタンを押
しながら

電源スイッチON!



受信機/FETスピードコントローラーの
電源スイッチをONします。

注) 上記の受信機には配線が接続されていませんが、
BINDする際には、サーボやFETスピード
コントローラー(モーターは除く)、バッテリー
等を接続した状態でおこなってください。

3)受信機のLEDがゆっくりとした点滅になるのを確認したら 受信機のBINDボタンを離してください。

※受信機のLEDがゆっくりとした点滅になる前にBINDボタン
を離した場合に、BINDモードに入らない場合があります。
再度2)の作業からやりなおしてください。

4)受信機のLEDが点滅しているときに送信機の★ボタンを 押してください。

※受信機がバインド待機の状態を維持するのは約10秒間です。
バインドが終了する前に受信機のLEDが消灯した場合は
再度2)の作業からやりなおしてください。

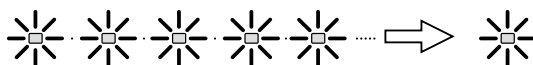
5)続いてENTERボタンを押してください。

ENTERボタンを押すとBINDモードになり、送信機から
受信機にデータが送られます。

6)受信機のLEDが高速点滅のあと点灯しますので、サーボ等を 動作させてバインドが終了したことを確認してください。

※LEDが点灯しない場合は2)の作業からやりなおしてください。

受信機LEDの状態(高速点滅).....点 灯

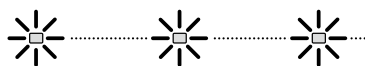


注意

- 出荷時にはBINDされていません。
ご使用になる前に必ずBINDをおこなってください。
- 新たに受信機を購入された場合は、必ず送信機と
新しい受信機でBINDをおこなってください。
- 必ずBINDした送信機と受信機のセットでお使いください。
- RX-442DS、RX-371をBINDする場合は送信機のTYPE
(送信方式)をDS2に切りかえます。BINDの設定はRX-451
と同じ手順でおこなえます。
- [BIND]は必ず送信機のパワースイッチをONにした状態で
おこなってください。



受信機LEDの状態(約0.5秒間隔の点滅)



各機能の使用法

シグナル

SIGNL

- それぞれのキーやトリム、スイッチの操作音、各種タイマーのブザー音の音階を個別に設定できます。
- ブザー音の前半、後半別々に音階を設定できます。
- 音階は10種類で前半、後半の組み合わせで計100種類のブザー音のパターンがつけれます。

1) ファンクションセレクトキーにより、SIGNLにカーソルを移動します。

2) コマンドシグナル(COMMAND)の設定

ENTERキーまたは★キーで▶をCOMMAND表示の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで前半の音階を設定します。

次に、ENTERキーで▶を移動し、INC/+またはDEC/-キーで後半の音階を設定します。

- 設定範囲 S01～S10、MUTE(無音)
- 初期値 前半：S10、後半：S10

※コマンドシグナルは、キー操作のブザー音に適用します。

M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
SIGNAL		COMMAND▶	S10 ▶S10	
PRE-ALM		DOWN		
S10	S10	S05	S05	
INT-T1		INT-T2		
S10	S10	S08	S08	
>ITEN SELECT NEXT=ENTER / BACK=★				

3) プリアラーム(PRE-ALM)の設定

ENTERキーまたは★キーで▶をPRE-ALM表示の下に移動して、INC/+またはDEC/-キーで前半の音階を設定します。

次に、ENTERキーで▶を移動し、INC/+またはDEC/-キーで後半の音階を設定します。

- 設定範囲 S01～S10、MUTE(無音)
- 初期値 前半：S10、後半：S10

※プリアラームは、ラップタイマーで使用するブザー音です。

M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
SIGNAL		COMMAND	S10 S10	
PRE-ALM		DOWN		
▶S10 ▶S10		S05	S05	
INT-T1		INT-T2		
S10	S10	S08	S08	
>ITEN SELECT NEXT=ENTER / BACK=★				

4) ダウンアラーム(DOWN)の設定

ENTERキーまたは★キーで▶をDOWN表示の下に移動して、INC/+またはDEC/-キーで前半の音階を設定します。

次に、ENTERキーで▶を移動し、INC/+またはDEC/-キーで後半の音階を設定します。

- 設定範囲 S01～S10、MUTE(無音)
- 初期値 前半：S05、後半：S05

※ダウンアラームは、ダウンタイマーで使用するブザー音です。

M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
SIGNAL		COMMAND	S10 S10	
PRE-ALM		DOWN		
S10	S10	▶S05 ▶S05		
INT-T1		INT-T2		
S10	S10	S08	S08	
>ITEN SELECT NEXT=ENTER / BACK=★				

5) INT-T1の設定

ENTERキーまたは★キーで▶をINT-T1の下に移動して、INC/+またはDEC/-キーで前半の音階を設定します。
次に、ENTERキーで▶を移動し、INC/+またはDEC/-キーで後半の音階を設定します。

●設定範囲 S01～S10、MUTE(無音)

●初期値 前半：S10、後半：S10

※INT-T1は、インターバルタイマーT1のブザー音です。

M01:				F3	
SET-UP	SIGNAL	E-ASGN	USER		
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT		
SIGNAL COMMAND S10 S10					
PRE-ALM		DOWN			
S10 S10		S05 S05			
INT-T1		INT-T2			
▶S10 ▶S10		S08 S08			
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=★					

6) INT-T2の設定

ENTERキーまたは★キーで▶をINT-T2の下に移動して、INC/+またはDEC/-キーで前半の音階を設定します。
次に、ENTERキーで▶を移動し、INC/+またはDEC/-キーで後半の音階を設定します。



●設定範囲 S01～S10、MUTE(無音)

●初期値 前半：S10、後半：S10

※INT-T2は、インターバルタイマーT2のブザー音です。

M01:				F3	
SET-UP	SIGNAL	E-ASGN	USER		
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT		
SIGNAL					
COMMAND		S10	S10		
PRE-ALH		DOWN	S10		
S10	S10	S05	S05		
INT-T1		INT-T2	S10		
S10	S10	S08	S08		
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=★					

重要

- ブザー音が重なった場合、1つのブザー音になります。長いブザー音は、消されることがあります。
- ブザー音を出したくない場合は前半、後半の両方をMUTEにしてください。
片方だけですと、半音になります。
- 常時表示画面のブザー表示  は、コマンド(COMMAND)設定を両方MUTEに設定すると  表示となります。

FH3F		7.5V	
4CH			
STL	----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----		

MUTE設定後



FH3F		7.5V	
4CH			
STL	----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----		

各機能の使用法

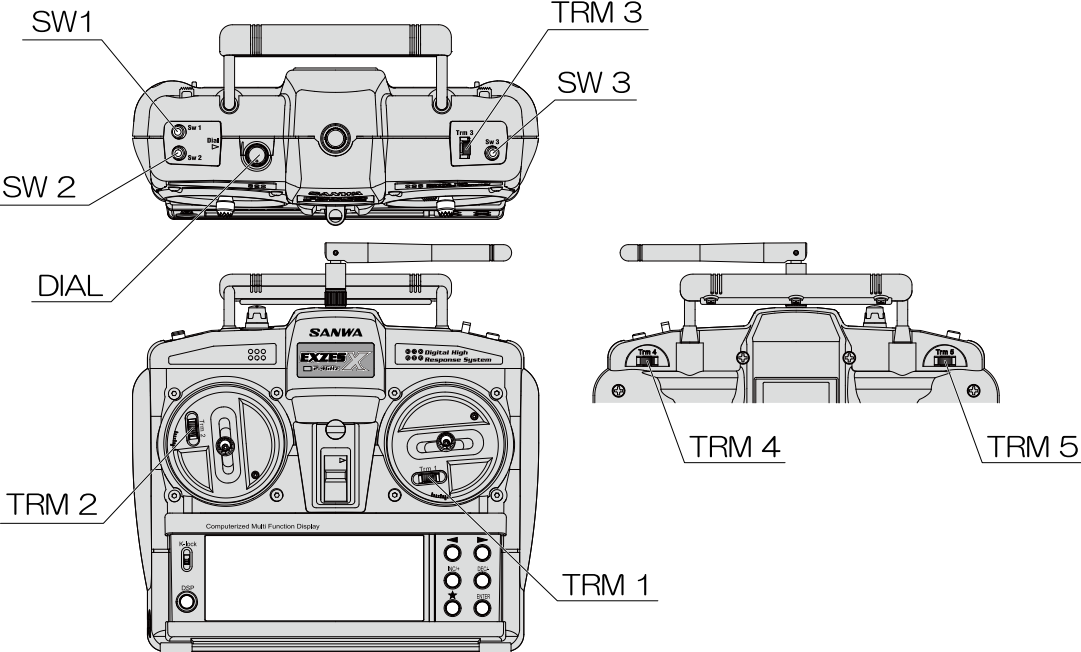
キアサイン

E-ASGN

M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	

●送信機のスイッチ(SW 1~SW 3)、トリム(TRM 1~TRM 5)、DIALに機能及びトリム(機能の設定値の増減)を割り当てることができ、走行中に簡単に機能のON/OFF、設定値の変更ができます。

スイッチ及びトリムの位置



※工場出荷時スイッチ(SW 1~SW 3)、トリム(TRM 1~TRM 5)、DIALに割り当てられている機能

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| TRM 1: ステアリングトリム (TRM-S) | SW 1: スターティングポジション (S-POS) |
| TRM 2: スロットルトリム (TRM-T) | SW 2: アンチロックブレーキ (ALB) |
| TRM 3: ブレーキトリム (TRM-B) | SW 3: タイマー (LAP-T/INT-T/DWN-T) |
| TRM 4: デュアルレート (D/R) | DIAL: ◀ ▶ (カーソル移動) |
| TRM 5: エンドポイントアジャスト ブレーキ (EPA-B) | |

[SW] キアサインスイッチ

- 各機能のON/OFFをSW 1~SW 3に割り当てて、走行中に機能のON/OFFを操作することができます。
- 1個のSWに3種類の機能(FUNC 1~3)を割り当てることができ、同時に切りかえることができます。

M01: F3

SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT

[SW] TRIM

FUNC	SW1	SW2	SW3
1:	S-POS	ALB	LAP-T
2:	-----	-----	INT-T
3:	-----	-----	DWN-T

>SW SELECT NEXT=ENTER / BACK=▲

FH3F 7.5V

STL

TRM-S 00/R 100

TRM-T 01/EPA-B 100

TRM-B 04/r

機能ONで反転表示する。

常時表示画面に設定状態が表示される。

3つの機能を割り当てられる。

この場合、LAP-T、INT-T、DWN-Tが同時にON/OFFすることになる。

1)ファンクションセレクトキーにより、**F**-ASGN[SW]にカーソルを移動します。

2)ENTERキーまたは★キーで▶を設定するSWに移動して、INC/+またはDEC/-キーで機能を選択します。

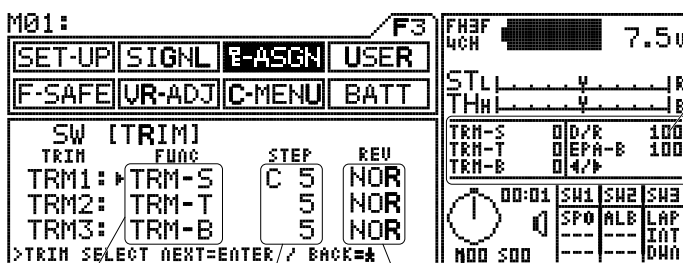


●選択できる機能

機 能	メニュー画面	常時表示画面	工場出荷時
ステアリング・エクスポネンシャル	EXP-ST	EXS	
スロットル・エクスポネンシャル	EXP-TH	EXT	
ステアリング・アジャスタブルレートコントロール	ARC-ST	ARS	
スロットル・アジャスタブルレートコントロール	ARC-TH	ART	
ステアリング・サーボスピード	SPD-ST	SPS	
ブレーキング・サーボスピード	SPD-BR	SPB	
アンチロックブレーキ	ALB	ALB	[SW 2]
トラクションコントロール・フォワード	TRC-F	TRF	
トラクションコントロール・リターン	TRC-R	TRR	
ラップタイマー	LAP-T	LAP	[SW 3]
インターバルタイマー	INT-T	INT	[SW 3]
ダウンタイマー	DWN-T	DWN	[SW 3]
スターティングポジション	S-POS	SPO	[SW 1]
スターティングポジション・ブレーキロック	BR-LCK	BRL	
スロットルホールド	TH-HLD	HLD	
コンペンセーションミキシング 1	C-MIX1	CX1	
コンペンセーションミキシング 2	C-MIX2	CX2	
ファンクション・リブレイスメント	◀▶ /+ -	◀ /+	

[TRIM] キーアサイントリム

- 各機能の設定値をTRM 1～TRM 5、DIALで変更できます。
- STEPを設定でき、1回のキー操作での変化幅を変更できます。
- 6ヶ所(TRIM 5ヶ所、DIAL)に割り当てられることができ、操作しやすい位置に変更できます。
- キーアサイントリムで設定した機能は、その設定値を常時表示画面に表示することで、どのメニューからでも確認できます。



機能の設定

動作方向の設定

ステップ (変化幅の設定)
センタートリムとバラレトリム
の設定 (TRM-Sのみ)

設定値も表示される。

常時表示画面に設定
状態が表示される。

各機能の使用法

キーアサイン

E-ASGN

M01: F3
 SET-UP | SIGNAL | E-ASGN | USER
 F-SAFE | VR-ADJ | C-MENU | BATT

[TRIM] キーアサイントリム

- 1) ファンクションセレクトキーにより、E-ASGN [TRIM] にカーソルを移動します。
- 2) 機能の選択
 ETERキーまたは★キーで▶を設定する[TRIM]のFUNCに移動して、INC/+またはDEC/-キーで機能を選択します。
- 3) ステップの設定
 ENTERキーまたは★キーで▶を設定する[TRIM]のSTEPに移動して、INC/+またはDEC/-キーでステップを設定します。
 ・TRM-Sのみステップでセンタートリムと平行トリムの設定をします。
 ※ステップとは、1クリックで動作する量のことです。
- 4) REVの設定
 ENTERキーまたは★キーで▶を設定する[TRIM]のREVに移動して、INC/+またはDEC/-キーでREVを設定します。
 ※REVでトリムレバーの操作方向とトリムの動作方向を設定します。

M01: F3
 SET-UP | SIGNAL | E-ASGN | USER
 F-SAFE | VR-ADJ | C-MENU | BATT

SW [TRIM]
 TRIM FUNC STEP REV
 TRM1: ▶TRM-S C 5 NOR
 TRM2: TRM-T 5 NOR
 TRM3: TRM-B 5 NOR
 >TRIM SELECT NEXT=ENTER / BACK=★

M01: 次ページ F3
 SET-UP | SIGNAL | E-ASGN | USER
 F-SAFE | VR-ADJ | C-MENU | BATT

SW [TRIM]
 TRIM FUNC STEP REV
 TRM4: D/R 1 NOR
 TRM5: EPA-B 1 NOR
 DIAL: ◀/▶ 1 NOR
 >TRIM SELECT NEXT=ENTER / BACK=★

● 選択できる機能およびステップの範囲

機 能	メニュー画面	ステップ	REV	工場出荷時
ステアリング・トリム (センタートリム(C)とパラレルトリム(P)の選択ができます。)	TRM-S	C/P 1~10	NOR	[TRM 1]
スロットル・トリム	TRM-T	1~10	NOR	[TRM 2]
ブレーキ・トリム (4CH時)	TRM-B	1~10	NOR	[TRM 3]
デュアルレート	D/R	1~10	NOR	[TRM 4]
ステアリング・エンドポイントアジャスト	EPA-S	1~10	NOR	
ブレーキ・エンドポイントアジャスト	EPA-B	1~10	NOR	[TRM 5]
ファンクションセレクト	◀/▶	1~10	NOR	[DIAL]
ステアリング・エクスボネンシャル	EX-S	1~10	NOR	
スロットル・エクスボネンシャル ハイ	EX-H	1~10	NOR	
スロットル・エクスボネンシャル ブレーキ	EX-B	1~10	NOR	
アジャスタブルレートコントロール・ステアリング レート	AR-S-R	1~10	NOR	
アジャスタブルレートコントロール・ステアリング ポイント	AR-S-P	1~10	NOR	
アジャスタブルレートコントロール・スロットル ハイ レート	AR-H-R	1~10	NOR	
アジャスタブルレートコントロール・スロットル ブレーキ レート	AR-B-R	1~10	NOR	
アジャスタブルレートコントロール・スロットル ハイ ポイント	AR-H-P	1~10	NOR	
アジャスタブルレートコントロール・スロットル ブレーキ ポイント	AR-B-P	1~10	NOR	
ステアリング・サーボスピード フォワード	SP-S-F	1~10	NOR	
ステアリング・サーボスピード リターン	SP-S-R	1~10	NOR	
ステアリング・サーボスピード ポイント	SP-S-P	1~10	NOR	
ブレーキング・サーボスピード フォワード	SP-B-F	1~10	NOR	
ブレーキング・サーボスピード リターン	SP-B-R	1~10	NOR	
ブレーキング・サーボスピード ポイント	SP-B-P	1~10	NOR	
アンチロックブレーキ・ポイント	ALB-PT	1~10	NOR	
アンチロックブレーキ・ラグ	ALB-ST	1~10	NOR	
アンチロックブレーキ・ストローク	ALB-LG	1~10	NOR	
アンチロックブレーキ・スピード	ALB-SP	1~10	NOR	
トラクションコントロール・フォワード トラクション	TR-T-F	1~10	NOR	
トラクションコントロール・リターン トラクション	TR-T-R	1~10	NOR	
トラクションコントロール・フォワード ディレイ	TR-D-F	1~10	NOR	
トラクションコントロール・リターン ディレイ	TR-D-R	1~10	NOR	
トラクションコントロール・フォワード ポイント	TR-P-F	1~10	NOR	
トラクションコントロール・リターン ポイント	TR-P-R	1~10	NOR	
スターティングポジション	S-POS	1~10	NOR	
スロットルホルド	TH-HLD	1~10	NOR	
ブレーキミキシング 2CH ディレイ	BM-2CH	1~10	NOR	
ブレーキミキシング 3CH ディレイ	BM-3CH	1~10	NOR	
ブレーキミキシング 4CH ディレイ	BM-3CH	1~10	NOR	
コンベンションミキシング1 オフセット	CX1-OF	1~10	NOR	
コンベンションミキシング1 ハイ	CX1-Hi	1~10	NOR	
コンベンションミキシング1 ロー	CX1-Lo	1~10	NOR	
コンベンションミキシング2 オフセット	CX2-OF	1~10	NOR	
コンベンションミキシング2 ハイ	CX2-Hi	1~10	NOR	
コンベンションミキシング2 ロー	CX2-Lo	1~10	NOR	
3CH (AUX)	3CH	1~10, 20, 50, 100, 200	NOR	

ユーザーネーム

USER

M01: F3
 SET-UP SIGNAL E-ASGN USER
 F-SAFE VR-ADJ C-MENU BATT

- 送信機のユーザー名を登録できます。
- アルファベット、数字、カナ、記号を12文字まで登録できます。

- 1) ファンクションセレクトキーにより、USERにカーソルを移動します。

M01: F3 FH3F 7.5V
 4CH
 SET-UP SIGNAL E-ASGN USER
 F-SAFE VR-ADJ C-MENU BATT
 STL THH
 USER NAME
 _
 >CURSOR RIGHT=ENTER / CURSOR LEFT=*

- 2) ENTERキーまたは★キーでカーソル”_”を入力したい位置に移動します。

- 3) INC/+、またはDEC/-キーで文字を選択します。

- 設定範囲 A~Z, a~z, 0~9, 0~9, ア〜ン、”、”、ア〜ツ、記号、スペース

M01: F3 FH3F 7.5V
 4CH
 SET-UP SIGNAL E-ASGN USER
 F-SAFE VR-ADJ C-MENU BATT
 STL THH
 USER NAME
 A
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
 >CURSOR RIGHT=ENTER / CURSOR LEFT=*

- 4) 2)、3)を繰り返して入力します。

補足

- INC/+とDEC/-の同時押しで、A→a→0→o→ア→ア→!→スペース→A・・・とグループの頭出しができます。
- スペースのところに文字を入力する場合、DEC/-キーを押すと、前文字のグループの先頭から選択できるようになります。同じグループの文字を入れる場合に便利です。
- BATTメニューで、ENTERキーにより、EXZES Xロゴ表示とユーザーネームと入れかえできます。

M01: F3
 SET-UP SIGNAL E-ASGN USER
 F-SAFE VR-ADJ C-MENU BATT
 SANWA ON TIME
 00:01
 サンワ エクセス X 7.5V
 >'LOGO'=ENTER / SX-MONITOR=*

各機能の使用法

フェールセーフ

F-SAFE

M01:			F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT

[FAIL SAFE] フェールセーフ

- フェールセーフとは、受信機が送信機からの電波を受信できないような状況になった場合に、各チャンネルのサーボをあらかじめ設定した位置にサーボを保持させる機能です。
- RX-442DS、RX-371を使用する場合には、フェールセーフの設定を送信機からおこなえません。RX-442DS、RX-371は受信機にスロットルのフェールセーフ位置をおぼえさせる方式です。

- 1) ファンクションセレクトキーにより、F-SAFEにカーソルを移動します。
- 2) ENTERキーで▶をフェールセーフを設定するチャンネル(CH)にカーソルを移動します。
- 3) 選択したチャンネル(CH)でINC/+キーを押すと、フェールセーフのモード設定がFREE→HOLD→FS→FREE・・・の順で切りかわります。DEC/-キーを押すと、フェールセーフの設定がFREE→FS→HOLD→FREE・・・の順で切りかわります。

- 設定範囲 FREE/HOLD/FS
- 初期設定 FREE

※各モードについて

FREE (フリーモード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなると、サーボへの信号出力を停止してサーボはフリーの状態になります。

HOLD (ホールドモード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなる直前の位置を保持します。

FS (フェールセーフモード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなると、設定した位置にサーボを保持します。

・FREE、HOLD、FSの各モードは、送信機からの信号を再び受信できるようになった場合、自動的に解除します。

- 4) フェールセーフの設定
フェールセーフモードで動作させる位置をバークラフで確認して、位置が決定したらINC/+とDEC/-キーを同時に押して、フェールセーフが働いたときの位置を設定します。
- ※安全面からフェールセーフの設定はスロットルチャンネルをブレーキ側に設定することをおすすめします。

- 5) フェールセーフの確認
フェールセーフの設定がされている状態で★キーを押します。次にENTERキーを押すと、送信機からの電波がストップして、フェールセーフ確認モードに入ります。
※再度ENTERキーを押すまでフェールセーフ確認モードを維持します。

M01:			F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT

[FAIL SAFE]			
ST : FREE	L		R
TH : FREE	H		B
3CH : FREE	H		L
4CH : FREE	H		B
>CH SELECT=ENTER / F/S CHECK SET=★			

M01:			F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT

[FAIL SAFE] B-FAIL SAFE			
ST : FREE	L		R
TH : FS-100	H		B
3CH : FREE	H		L
4CH : FREE	H		B
>CH SELECT=ENTER / F/S CHECK SET=★			

M01:			F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT

[FAIL SAFE] B-FAIL SAFE			
ST : FREE	L		R
TH : FS-100	H		B
3CH : FREE	H		L
4CH : FREE	H		B
>START F/S CHECK=ENTER / RETURN=★			

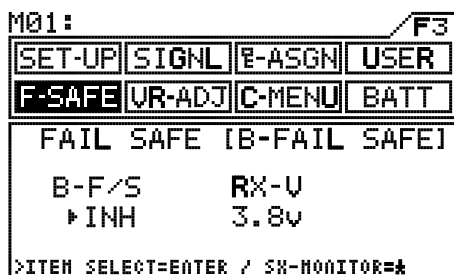
M01:			F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT

[FAIL SAFE] B-FAIL SAFE			
ST : FREE	L		R
TH : FS-100	H		B
3CH : FREE	H		L
4CH : FREE	H		B
>ENTER=ENTER			

[B-FAIL SAFE] バッテリーフェールセーフ

- バッテリーフェールセーフとは、受信機側のバッテリー電圧が設定電圧以下になった場合にスロットルチャンネルをフェールセーフで設定した位置に保持します。
- 受信機側のバッテリー電圧が復帰したら機能は解除されますが、バッテリーフェールセーフが働いたことを示す赤LEDが点灯します。(受信機側) 受信機側の電源OFFでリセットされます。
- ※スロットル(TH)をFS (フェールセーフモード) に設定しないと使用できませんので、ご注意ください。
- ※RX-442DS、RX-371を使用する場合はバッテリーフェールセーフの機能は使用できません。

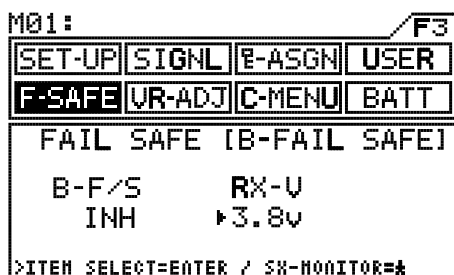
- 1) ファンクションセレクトキーにより、F-SAFE [B-FAIL SAFE] にカーソルを移動します。



- 2) B-FAIL SAFEのINH/ACT
有効にする場合はACTに、無効にする場合はINHにします。
B-F/Sの下に▶があることを確認して、INC/+またはDEC/-キーでINH/ACTを設定します。

- 3) B-FAIL SAFEの電圧設定
ENTERキーで▶を電圧設定の右横に移動して、INC/+、DEC/-キーで電圧設定します。

- 設定範囲 3.5V~5.0V
○初期値 3.8V

**重要**

- フェールセーフについて
フェールセーフ機能をACTにした場合は走行前にフェールセーフの設定を確認してください。
走行中にフェールセーフの設定を変更しないでください。
- バッテリーフェールセーフについて
電動RCカーは受信機の電源をFETスピードコントローラーから供給されますが、走行用モーターのON/OFFによって受信機への供給電圧が瞬間的に低下しバッテリーフェールセーフが働く場合があります。電動RCカーではバッテリーフェールセーフ機能を使用しないでください。

各機能の使用法

ボリュームアジャスト

VR-ADJ

●ステアリングとスロットルのニュートラル位置の補正をおこなうことができます。

※EPAの設定をおこなったあとにボリュームアジャストをおこなった場合は、すべてのモデルメモリーのEPAの設定を確認してください。

1) ファンクションセレクトキーにより、VR-ADJにカーソルを移動します。

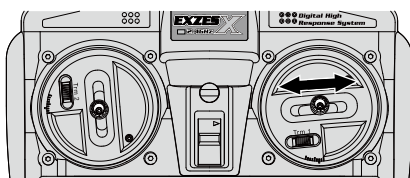
2) ENTERキーを押します。

ディスプレイ上でYES/NOを確認してきますので、VR-ADJをおこなう場合は、YESのINC/+キーを押してください。

VR-ADJをおこなわない場合は、NOのDEC/-キーを押してください。

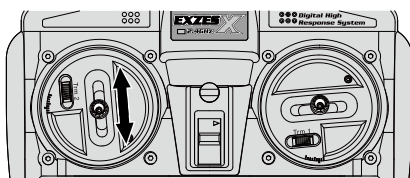
3) ステアリングのVR-ADJ調整

ステアリングスティックを左右に軽く弾いたあと、ステアリングスティックを左側、右側いっばいに軽く操作します。



4) スロットルのVR-ADJ調整

スロットルスティックを前後方向に軽く弾いたあとに前進側、フルブレーキ側いっばいに軽く操作します。



5) ステアリング、スロットルの操作が終了してVR-ADJの設定が終了したら、ENTERキーを押します。

6) INC/+キーを押してVR-ADJは終了です。

M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	

M01:			F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT
VR ADJUSTMENT			
ST	L ----- R 0		
TH	H ----- B 0		
>VR ADJ=ENTER / SX-MONITOR=#			

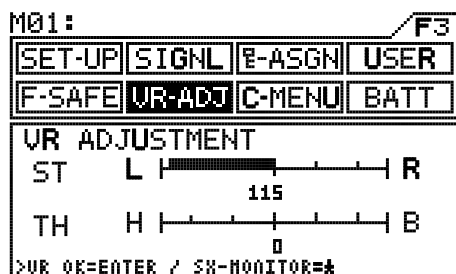
M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
VR ADJUSTMENT				
VR ADJUSTMENT?				
YES=<INC> NO=<DEC>				

M01:			F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT
VR ADJUSTMENT			
ST	L ----- R		
	--- 0 ---		
TH	H ----- B		
	--- 0 ---		
>VR OK=ENTER / SX-MONITOR=#			

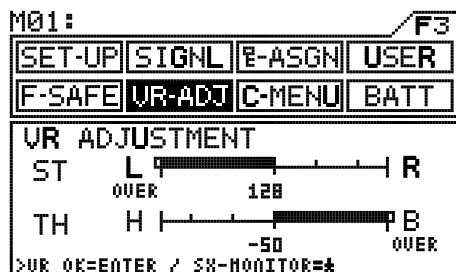
M01:			F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT
VR ADJUSTMENT			
ST	L	-----	R
		128 0 -128	
TH	H	-----	B
		125 0 -50	
>VR OK=ENTER / SX-MONITOR=#			

M01:				F3
SET-UP	SIGNL	E-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
VR ADJUSTMENT				
ADJUSTMENT EXECUTE?				
YES=<INC> NO=<DEC>				

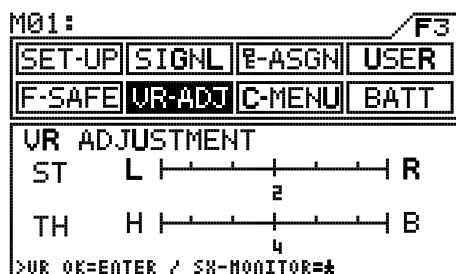
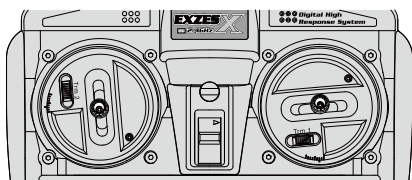
- VR-ADJをおこなったあとでバークラフが端まで届いているか確認してください。
操作してバークラフが端まで届いていない場合は、スティックを操作したときに動かない領域が発生しています。この場合は再度VR-ADJをおこなってください。設定するときにスティックを確実に動作端まで操作してVR-ADJの設定をおこなってください。



- VR-ADJの際に、スティックを確実に動作端まで操作せずに設定をおこなった場合には、スティックを動作端まで操作したときにOVERと表示されます。
そのままの状態だと、正常に動作しません。再度、VR-ADJ設定をやりなおしてください。



- ステアリングスティック、スロットルスティックをニュートラル位置に戻したときに、ニュートラル表示が「0」になっているか確認してください。
「0」にならない場合は、操作時にニュートラルが位置に戻っていない可能性があります。
VR-ADJをおこなっても治らない場合はお近くサンワサービスにお送りください。



補足

- VR-ADJをおこなっても正常な動作に戻らないときは、お近くのサンワサービスにお送り下さい。

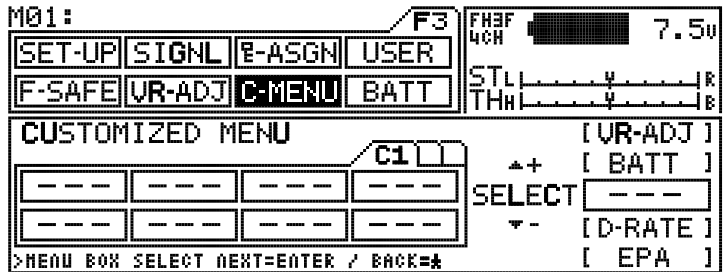
各機能の使用法

カスタマイズメニュー

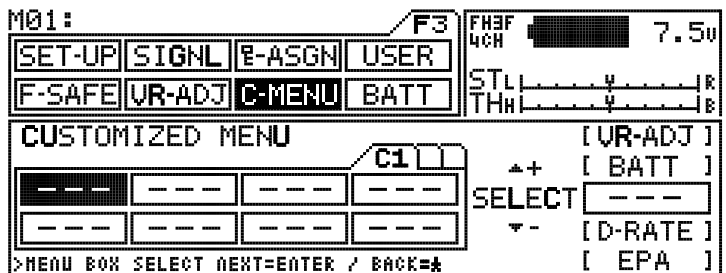
C-MENU

- カスタマイズメニューを設定することによって、好みのメニュー画面を作成することができます。
- カスタマイズメニュー設定後はファンクションセレクトキー(◀、▶)の左右同時長押しによってノーマルメニューとカスタマイズメニューの切りかえを簡単におこなうことができます。

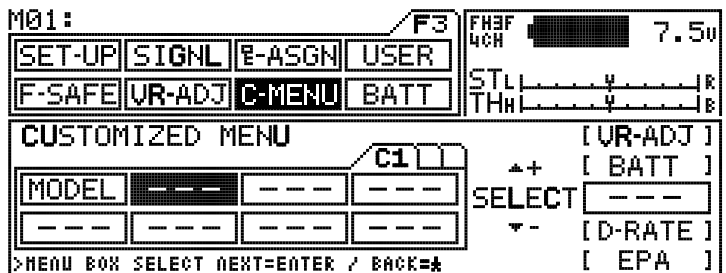
1) ファンクションセレクトキーにより、C-MENUにカーソルを移動します。



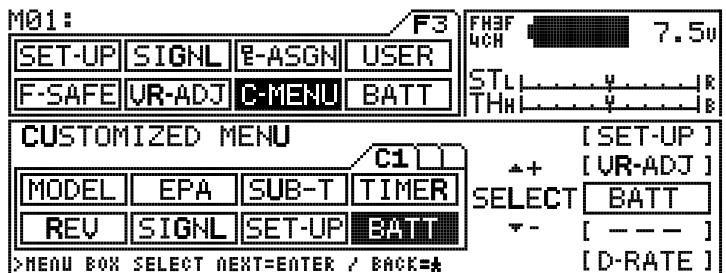
2) ENTERキーでメニューボックスを選択します。



4) メニューを選択したら、ENTERキーを押して、メニューボックスを進めます。メニューボックスを戻す場合は★キーを押します。



5) カスタマイズメニューの設定が完了したら、ファンクションセレクトキー(◀、▶)の左右同時長押しで、カスタマイズメニューに移行します。



補足

- カスタマイズメニューが設定されていれば、ファンクションセレクトキー(◀、▶)の同時長押しでノーマルメニュー⇄カスタマイズメニューの切りかえをおこなえます。
- ※カスタマイズメニューが設定されていない状態でファンクションセレクトキー(◀、▶)を同時押ししてもカスタマイズメニューには切りかわりませんのでご注意ください。

ダイレクトサーボコントロール

DSC

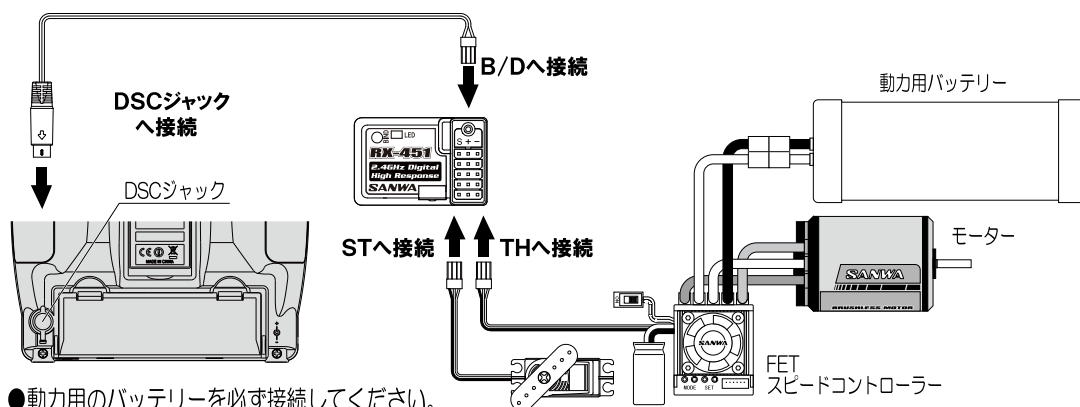
●EXZES X送信機とRX-451/451R受信機を付属のDSCハーネスで接続すると、電波を出さずにサーボ等を動作させることができます。レース中などにリンク調整をおこなうときに使用します。(ダイレクトサーボコントロール：DSC)

※送信機のDSCジャックにDSCハーネスが接続された状態で送信機のパワースイッチをONにしても電波は出ません。

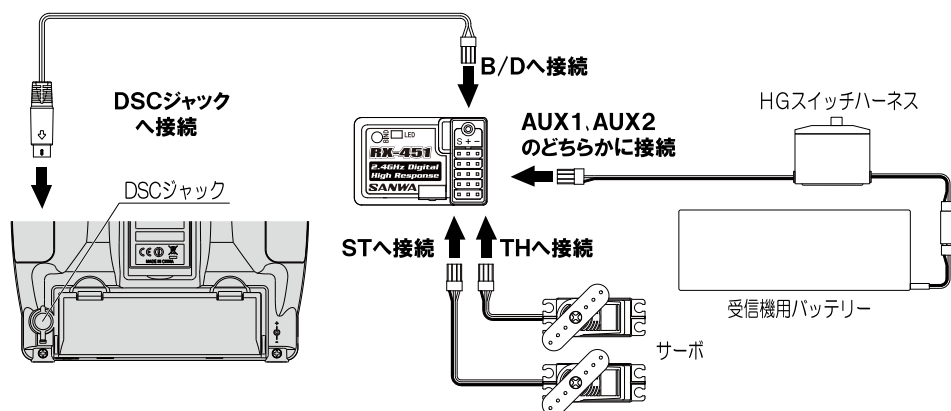
※RX-442DS、RX-371には受信機にDSCの機能がありませんので対応しておりません。

- 1) 送信機と受信機の電源がOFFの状態ですぐに付属のDSCハーネスを送信機の裏側にあるDSCジャックと受信機に接続してください。
- 2) 送信機のディスプレイスイッチをONにして、次に受信機側の電源スイッチをONします。
※サーボが動かない時は、再度受信機側のスイッチを入れなおしてください。
- 3) 動作確認が終了したら、受信機側→送信機の順番で電源をOFFにします。
電源をOFFにしたあとでDSCハーネスを送信機、受信機からはずしてください。

FETスピードコントローラーを使用する場合



エンジンカーで使用する場合

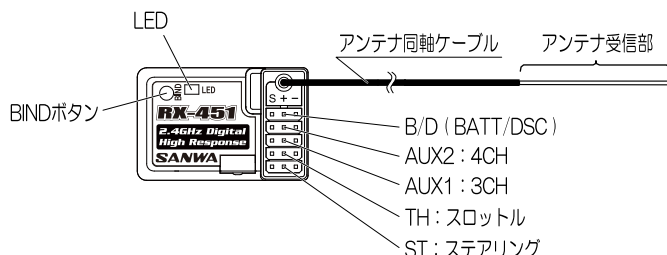


注意

- DSCを使用するときは、送信機のパワースイッチは入れないでください。
必ずディスプレイスイッチをONにして調整してください。
- DSCを使用するときは、RCカーの動力用/受信機用バッテリーを接続してください。
- 4CHすべてのサーボをDSCで動作させる場合は、オプションの2双リードハーネスまたは、ショートYハーネスが必要になります。
- DSCを使用後は、必ずDSCハーネスを外してください。
- 付属のDSCハーネスはEXZES X、M11X専用です。

受信機の接続と搭載について

受信機各部の名称

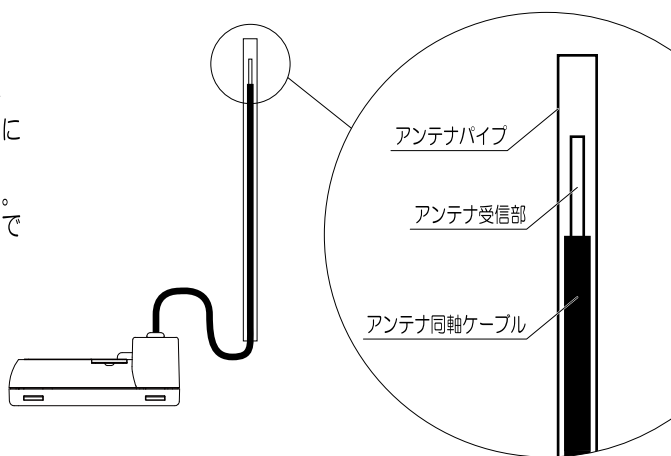


受信機LEDの状態

電波を受信している状態	青点灯
電波を受信できない状態	—
BIND(バインド)設定中	青点滅、 青高速点滅
バッテリーフェールセーフ作動	青&赤点灯
バッテリーフェールセーフ作動後 に電波を受信できない状態	赤点灯

アンテナの取扱いについて

- 受信機とアンテナが搭載される場所により、受信距離が異なります。
- 右図のようにアンテナ受信部(先端から約3cm)を保護するために、必ずアンテナパイプにアンテナを入れて、先端がアンテナパイプの外部に出ないようにしてください。
- アンテナ受信部は絶対に、折り曲げないでください。また、アンテナ同軸ケーブルを無理に折り曲げないでください。
- 同軸ケーブルを無理に引っ張らないでください。受信機内部の破壊の原因となります。



⚠ 注意

- RCカーに搭載したときに、アンテナ受信部はなるべく高い位置になるように設置してください。
- アンテナ受信部、アンテナ同軸ケーブルは切断したり束ねたりしないでください。
- 受信機のアンテナはモーター、FETスピードコントローラー(配線も含む)から離して、垂直に立ててください。
- 走行中の振動でコネクターが抜けると、暴走の危険があります。受信機、サーボ、スイッチ等のコネクターは確実に接続してください。
- 受信機は振動、衝撃、水に弱いので、防振/防水対策を確実にこなしてください。対策を怠ると、暴走の危険があります。
- 受信機の取り付けはカーボンシャシー、金属シャシーから離して取り付けてください。
- RCカーに搭載している金属パーツ同士が接触すると、ノイズが発生し受信機性能に悪影響をおよぼし、暴走の危険があります。
- 電動RCカーのモーターには必ずノイズキラーコンデンサーを取り付けてください。ノイズキラーコンデンサーを取り付けていないと、ノイズが発生し暴走の危険があります。
- サーボには必ず付属のアブソーバーゴムを使用してください。振動がサーボに直接伝わり、サーボトラブルが発生し、暴走の危険があります。
- 送信機、受信機、サーボ、FETスピードコントローラー、送/受信機バッテリー等のプロポパーツは、SANWA純正品をご使用ください。

※SANWA純正部品以外の組み合わせにより発生した損害などにつきましては、当社では責任を負いません。

こんなときは・・・

現 象		原 因	処 理	参照 ページ
電源が入らない。		バッテリーの電圧不足。	充電してください。	8
ときどき電源が切れる。		コネクター等の接触不良。	サンワサービスへ。	
アラームが 鳴りやまない。	ピー、ピー、ピーと 連続音が鳴る。	送信機バッテリーの電圧が 低下している。	充電してください。	8
	ピッピ、ピッピ、ピッピ と連続音が鳴る。	S-POSの機能がONになっている。	S-POSの機能をOFFに してください。	34
	ピッピ、ピッピ、ピッピ と周期的に鳴る。	インターバル・タイマーがONに なっている。	インターバル・タイマーの機能を 確認してください。	32
キーを操作してもキー操作音 が鳴らない。		シグナルの設定がOFFに なっている。	シグナルの設定を確認して ください。	47
キーを操作してもディスプレイ の表示が変わらない。		キーロックスイッチがONに なっている。	キーロックスイッチをOFFに してください。	9
サーボのスピードが遅い。		スピード機能で設定が マイナスになっている。	スピードの設定を確認して ください。	22, 23
		受信機バッテリーの電圧が 低下している。	受信機バッテリーを充電 してください。	8
		車体側のリンクージの動作 が重い、もしくは渋い。	車体側のリンクージの動作 を確認してください。	—
操作しても両端でサーボが 動かない。		D-RATE、EPAの設定値が 大きい。	どちらかの設定値を100% 以下に設定する。	14, 15
トリムを操作してもサーボが 動かない。		トリムの動作範囲外に なっている。	サーボホーン、トリムの センターを再設定します。	29
ラップ・タイマー、インターバル ・タイマーが動かない。		タイマーの機能がOFFに なっている。	タイマーの機能をONに します。	30～34

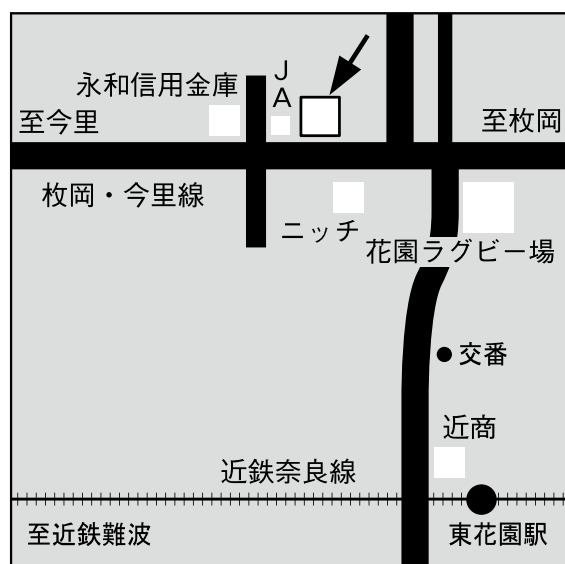
サンワサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを。この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも異常のあるときは、トラブルの状況を詳しくご記入の上、お近くのサンワサービスまで
修理依頼してください。

オーバーホールや点検時は点検内容を詳しくご記入ください。

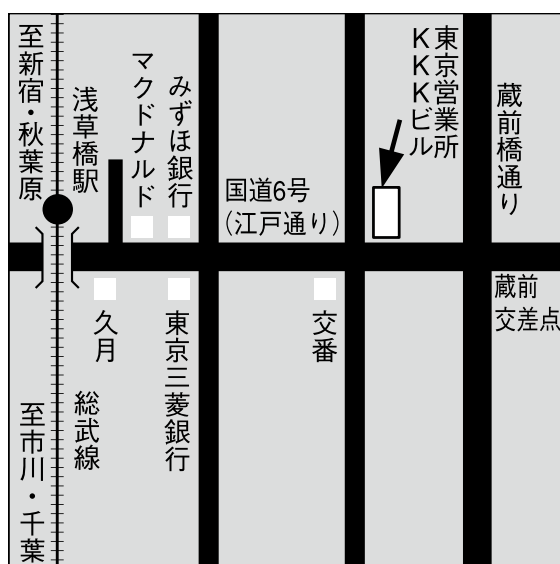
また、ご質問、お問い合わせ等がありましたら、お近くのサンワサービスにて受付けております。

電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝日を除くAM9:30~12:00、PM1:00~5:00です。



〈本社サービス〉

東大阪市吉田本町1丁目2-50
〒578-0982 ☎072(962)2180



〈東京サービス〉

東京都台東区浅草橋3丁目18-1
(KKKビル)
〒111-0053 ☎03(3862)8858

修理依頼カード

このカードに故障状態を詳しくご記入のうえ必ず製品といっしょにお送りください。

〒



()

ご住所

フリガナ
お名前

修理依頼用件

ご意見・ご要望

1回目 年 月 日

☐点検、オーバーホール。

☐全く動かない。

☐ノーコンになる。

●一台走行の時

●複数走行の時

☐水が入った。

☐その他

修理依頼用件

ご意見・ご要望

2回目 年 月 日

☐点検、オーバーホール。

☐全く動かない。

☐ノーコンになる。

●一台走行の時

●複数走行の時

☐水が入った。

☐その他

キリトリ線



SANWA プロポ保証書

EXZES X
2.4GHz Digital High
Response System

製品型名

製造番号

ご愛用者住所

お名前

保証期間

お買上げ日
有効期限

年 月 日) 180日
年 月 日)

販売店名・印

当社製品を上記記載通り保証いたします。


三和電子機器株式会社

「???」と感じたら……

動きがおかしかったり「???」と感じたときは、次のことをもう一度確認してください。

- 送信機、受信機の電源スイッチは“ON”になっていますか？
- 送信機のパイロットランプは点灯していますか？
- コネクターがはずれていませんか？
- リンクージ(セットアップ)はスムーズに動作しますか？

以上のことを確かめても正常に動作しないときは、お近くのサンワサービスに保証書と修理依頼カードを添えてお送りください。

 プロポは水が一番さらいです。プロポに水が入りそうな場合は、防水対策をしてください。ビニール袋等に入れ、袋の口をゴムやテープでふさいでください。受信機やサーボの中に水が入ると中の電子部品を壊し、動作しなくなります。



キリトリ線

- 1.本保証書は保証書記入の製品型名、製造番号のみについて有効です。
- 2.正常な使用状態において、製造上の責任による故障の場合、お買上げの日から6ヶ月(180日)以内、弊社にて無償修理いたします。但し、車体、船体、エンジンその他の保障についてはご容赦願います。
- 3.保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - 電氣的、機械的に変更または手を加えられた場合。
 - 弊社でのサービス以外で修理された場合。
 - 使用上の過失、または事故により発生した故障と認められた場合。
 - 本保証書を紛失された場合、または修理の際、添付されない場合。
 - お買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - 記入事項を訂正された場合。

MEMO

[illegible]



三和電子機器株式会社

本社／東大阪市吉田本町1-2-50 〒578-0982 ☎072(964)2531
東京営業所／東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル) 〒111-0053 ☎03(3862)8857

- 予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- 2010年5月 第1版